

V-FIELD 道路工事完成図版

完成図コマンド コマンドリファレンス

目次

1 章 はじめに	1-1
1 概要	1-2
2 適用基準	1-2
3 システム構成	1-3
4 本書の表記規則	1-4
5 語句説明	1-5
2 章 コマンド『完成図』	2-1
1 作図	2-2
1-1 点(距離標)	2-3
1-2 点(斜面对策工(点))	2-7
1-3 点(測点)	2-9
1-4 点(測点一括)	2-12
1-5 線	2-16
1-6 面	2-20
2 編集	2-33
2-1 属性付与	2-33
2-2 属性削除	2-42
2-3 属性変更	2-44
2-4 属性複写	2-55
2-5 中心線属性付与	2-56
2-6 面領域分割	2-61
2-7 面領域結合	2-63
2-8 面領域接合	2-65
2-9 面領域構成点移動	2-66
2-10 折線化	2-67
2-11 折線結合	2-68
2-12 相互切断	2-69
3 ツール	2-70
3-1 整合チェック	2-70
3-2 境界線重複チェック	2-76
3-3 微小要素検出	2-76
3-4 ハイライト表示	2-78
3-5 図形検索	2-79
3-6 面領域着色表示	2-84
3-7 図形名称表示	2-85
3-8 インポート	2-86
3-9 範囲分割	2-88
3-10 オプション	2-90

1

はじめに

1章 はじめに

この度は、V-nas シリーズ V-FIELD 道路工事完成図版をご採用いただきましてありがとうございます。

本書は、V-FIELD 道路工事完成図版のシステム概要および専用コマンドの操作方法を解説しています。V-FIELD の完成図コマンドの操作方法が分からない場合や機能の詳細を知りたい場合に、ご利用下さい。

システム共通部に関しては、V-nas コマンドリファレンスおよびV-nas 操作解説書「入門編」にて解説しています。併せてご覧下さい。

ご質問・ご要望は、巻末の V-nas シリーズお問い合わせ票に必要事項をご記入の上、当社まで FAX にてご連絡下さい。

1 概要

V-FIELD 道路工事完成図版は、V-FIELD をベースに、国土交通省「道路工事完成図等作成要領」に基いた道路工事における完成平面図の作図編集を行うための専用機能を搭載したものです。

専用コマンドの主な機能としては、

- ・ 距離標、車道部、歩道部など規定30種の地物に対応
- ・ SXF Ver.3.0、3.1 による属性データ出力に対応
- ・ 座標→経緯度自動変換機能

などが挙げられます。

2 適用基準

「道路工事完成図等作成要領(改定版)」平成18年8月(平成20年3月改定)

国土交通省国土技術政策総合研究所

「道路基盤地図情報交換属性セット(案)第1.1版」平成20年8月

国土交通省国土技術政策総合研究所

3 システム構成

(1)基本ソフトウェア

Microsoft® Windows 7、8、8.1、10

(2)コンピュータ本体

上記 OS が正常に稼動するパーソナルコンピュータ(intel core i5 以上を推奨)

(3)ディスプレイ

1024×768 以上が表示可能なもの(1280×1024 以上を推奨)

(4)メモリ

1G 以上(8GB 以上を推奨)

(5)ハードディスク

1GB 以上の空き容量が必要(10GB 以上を推奨)

(6)CD-ROMドライブ

CD-ROMドライブ(Cloud 版の場合は不要)

ご注意

本製品には OS は含まれておりません。

必要メモリ、ハードディスク容量はシステム環境によって異なる場合がありますのでご注意ください。

4 本書の表記規則

本書は、次の表記にしたがって記述されています。

(1)キー操作の表記

表記	説明
<Enter>	<>は、キーを示します。例えば、<Enter> はキーボードの Enter キーを押すことを示します。
<Alt + F1>	プラス記号(+)は、複数のキーを同時に押すことを示します。例えば、<Alt+F1> は Alt キーを押しながら、F1 キーを押すことを示します。

(2)コマンド、ダイアログの表記

表記	説明
『作図-ポリライン』	『』は、コマンド名称を示します。
【座標指示モード】	【】は、ツールパネル、ダイアログを示します。
[OK]ボタン	[]は、ダイアログにあるボタンやコンボボックスなどのコントロールを示します。

5 語句説明

(1)マウス操作

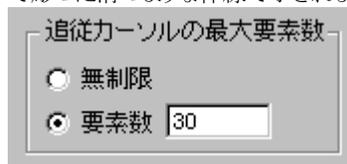
- クリック マウスの左または右ボタンを1回押して、すぐに離すことです。
- ダブルクリック マウスの左または右ボタンを素早く2回続けて押すことです。
- ドラッグ マウスの左または右ボタンを押したままマウスを移動し、目的の位置でボタンを離すことです。

(2)キー操作

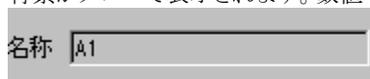
- 矢印キー ←、→、↑、↓キーの総称です。

(3)ダイアログ

- グループ ある程度関連のある設定項目はダイアログ上で互いに近いところに配置されています。そのひとまとまりの設定項目群をグループと呼びます。画面上は細い彫刻刀で彫った溝のような枠線で示されます。



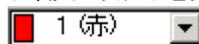
- スタティックテキスト 背景がグレーで表示されます。数値や文字の表示のみで、入力はできません。



- エディットボックス 背景が白色の入力欄で、数値や文字を入力します。

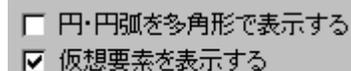


- コンボボックス 右端にある「▼」の形状をした矢印をクリックすると、一覧表がぶら下がって表示され、設定項目を選択します。



- チェックボックス 背景が白色の真四角のくぼみで、選択するとチェックマークが表示されます。(ON)

解除するとチェックマークは表示されません。(OFF)



ラジオボタン

背景が白色の丸いくぼみで、選択されると黒丸が表示されます。



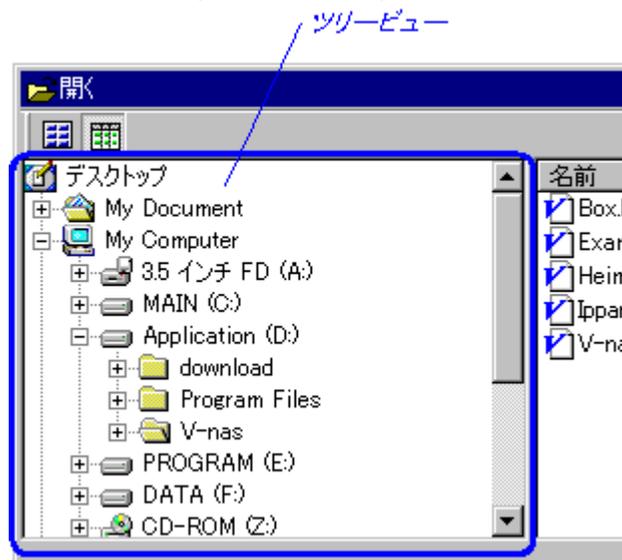
リスト

その時点で登録されている項目が一覧で表示されます。一覧のうちのどれかを選択すると色が反転して示されます。

名称	高さ	幅
A0	841	1189
A1	594	841
A2	420	594
A3	297	420

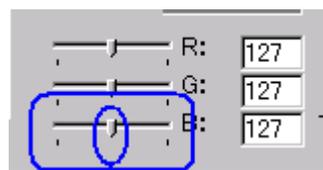
ツリービュー

項目が階層状に一覧で表示されます。



スライダーバー

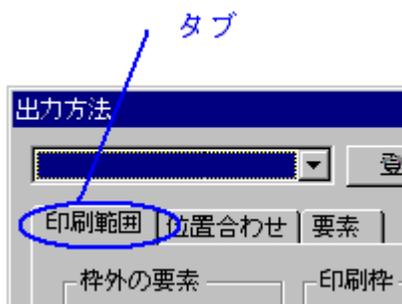
つまみをドラッグすることによって、数値設定を行います。



つまみ
スライダーバー

タブ

情報カードの見出しを引くようなイメージです。さまざまな設定項目が重なっていますので、タブと呼ばれる見出しをクリックして表に出します。



(4)その他

アクティブ

現在有効という意味です。

仮要素

画面上には表示されますが、印刷時には出力されない線分や点などの要素のことです。

基点

「始点」、「終点」、「中心点」、「構成点」、「基準点」の総称です。
『ツール－基点表示－選択／解除』で基点を強調して表示することができます。
このコマンドにより図形の編集作業の効率化を図れます。

e

自然対数の底。

ワイルドカード

ファイルやフォルダを検索する場合に、一つまたは複数の実際の文字を表すために使用できるアスタリスク(*)や疑問符(?)などの文字です。多くの場合、ワイルドカード文字は、実際の文字が分からない場合や名前全体を入力しない場合に、一つまたは複数の文字の代わりに使用されます。

2

コマンド『完成図』

2章 コマンド『完成図』

作図	距離標、道路中心線、車道部等規定 30 種の地物を作図します。
編集	地物属性の付与、編集、折線化、折線結合等を行います。
ツール	確認表示や初期値設定等を行います。

1 作図

『完成図－作図』

機能

距離標、道路中心線、車道部等規定 30 種の地物を作図します。

操作方法

1. 図形名称を選択して下さい。【図形名称選択:ダイアログ】
2. 選択した図形、作図方法により、作図して下さい。

◆ 図形名称選択:ダイアログ

説明

対象地物の図形名称を選択し、選択された図形による手順で作図します。



点、線の図形は名称選択後、「作図>」ボタンを押します。

面の図形は名称選択後、面図形作図方法を「座標指定」「要素指定」「座標+要素」「領域指定」から選択し、「作図>」ボタンを押します。「キャンセル」ボタンでコマンド終了します。

- | | | | |
|-----------------|--------------|-------|--------------|
| ・点(距離標)の場合 | 1-1(p.2-3)へ | ・線の場合 | 1-5(p.2-15)へ |
| ・点(斜面对策工(点))の場合 | 1-2(p.2-7)へ | ・面の場合 | 1-6(p.2-19)へ |
| ・点(測点)の場合 | 1-3(p.2-9)へ | | |
| ・点(測点一括)の場合 | 1-4(p.2-11)へ | | |

1-1 点(距離標)

距離標を作図します。

操作方法

1. 属性を入力して下さい。【属性入力(距離標):ダイアログ】
2. ([緯度経度の値に従い配置する]チェックボックスの値が OFF の場合)配置位置を指示して下さい。【要素選択設定:ダイアログ】【座標指示モード】
3. 作図後1. に戻ります。

◆ 属性入力(距離標):ダイアログ

説明

【図形】テキストボックス

選択された図形名称が表示されます。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

カレンダーを表示し日付を選択します。

設置日	2007/11/22	▼						
	< 2007年11月 >							
	日	月	火	水	木	金	土	
_ID	28	29	30	31	1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
E:距離	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
泉番号	25	26	27	28	29	30	1	
	2	3	4	5	6	7	8	
区分	<input type="checkbox"/> 今日: 2007/11/22							▼

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト

入力はありません。

[属性:距離標]グループ

[路線番号]エディットボックス

距離標が設置されている路線の番号を入力します。

新直轄方式による整備などで、国道番号が割り当てられない場合は 999 を入力します。

[現旧区分]コンボボックス

距離標が設置されている路線が現道の場合は 1、旧道の場合は2、新道の場合は3を選択して下さい。

[上下区分]コンボボックス

距離標の用途が上下線共通の場合は 0、上り線用の場合は1、下り線用の場合は2を選択して下さい。

[接頭文字]コンボボックス

距離標を識別するための接頭文字を無い場合は1、B の場合は2、BP の場合は3を選択して下さい。

[距離程]エディットボックス

起点からの距離程数値を実数値で入力します。(小数点以下 1 桁、単位「km」)

測点で代用する場合は追加距離を入力します。(小数点以下2桁、単位「km」)

[種別]コンボボックス

距離標の種別が0、1kpの場合は1、1kpの場合は2、測点の場合は3を選択して下さい。

[経度]エディットボックス

距離標の設置中心位置の経度を入力します。秒単位は小数以下4桁まで入力します。

[緯度]エディットボックス

距離標の設置中心位置の緯度を入力します。秒単位は小数以下4桁まで入力します。

[高さ]エディットボックス

距離標の路面上の設置中心位置の高さ(T.P)を入力します。(小数点以下3桁、単位「m」)
測点で代用する場合は設計時に用いた計画路面高を入力します。

[参照点変換]ボタン

要領では、距離標を測点で代用する場合は、経度・緯度は設計時に用いた座標値を変換して入力
とされています。

この座標値を図面上から直接取得し、自動変換することが可能です。

「参照点変換」ボタンを押すと「変換の基準点を指示して下さい。」と表示されますので、設置する位
置を指示して下さい。

自動的に指示した位置の座標値を経度・緯度に変換してセットされます。

[系番号]コンボボックス

図面上の座標から経緯度に変換する場合は工事場所に応じて系番号を設定して下さい。

系番号	該当地域
1	長崎県 鹿児島県(一部離島)
2	福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県(一部離島を除く)
3	山口県 島根県 広島県
4	香川県 愛媛県 徳島県 高知県
5	兵庫県 鳥取県 岡山県
6	京都府 大阪府 福井県 滋賀県 三重県 奈良県 和歌山県
7	石川県 富山県 岐阜県 愛知県
8	新潟県 長野県 山梨県 静岡県
9	東京都(一部離島を除く) 福島県 栃木県 茨城県 埼玉県 千葉県 群馬県 神奈川県
10	青森県 秋田県 山形県 岩手県 宮城県
11	北海道の以下の地域 小樽市 函館市 北斗市 伊達市 檜山支庁 後志支庁 渡島支庁 有珠郡 虻田郡

12	北海道の以下の地域 札幌市 旭川市 稚内市 留萌市 美瑛市 夕張市 岩見沢市 苫小牧市 室蘭市 士別市 名寄市 芦別市 赤平市 三笠市 滝川市 砂川市 江別市 千歳市 歌志内市 深川市 紋別市 恵庭市 北広島市 石狩市 石狩支庁 上川支庁 宗谷支庁 日高支庁 空知支庁 留萌支庁 紋別郡 胆振支庁(有珠郡、虻田郡を除く)
13	北海道の以下の地域 北見市 帯広市 釧路市 網走市 根室市 根室支庁 釧路支庁 十勝支庁 網走支庁(紋別郡を除く)
14	東京都小笠原村 (北緯 28° 以南、東経 140° 30' 以東 143° 以西)
15	沖縄県の以下の地域 那覇市 うるま市 宜野湾市 浦添市 名護市 糸満市 沖縄市 南城市 国頭村 大宜味村 東村 今帰仁村 本部町 恩納村 宜野座村 金武村 伊江村 読谷村 嘉 手納町 北谷村 北中城村 中城村 西原町 豊見城村 八重瀬町 与那原町 南風原町 仲里村 具志川村 渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村 伊平屋村 伊 是名村
16	沖縄県の以下の地域 宮古島市 石垣市 多良間町 竹富町 与那国町
17	沖縄県南大東村 北大東村
18	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 140° 30' 以西 (沖ノ島))
19	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 143° 以東 (南鳥島))

離島部等詳細は国土地理院サイトなどをご参照下さい。

[緯度経度の値に従い配置する]チェックボックス

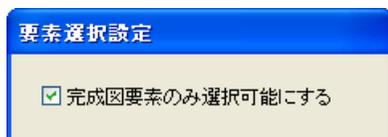
チェックを ON にすると、入力されている緯度経度と系番号の値に従い座標変換を行い、現在の図面上の座標位置に距離標を配置します。チェックが OFF の場合は距離標の配置は手動で行います。

座標変換は、現在のスケールと座標系を元に行いますので、あらかじめ座標系の設定を行ってください。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

◆ 要素選択設定:ダイアログ



説明

[完成図要素のみ選択可能にする]チェックボックス

ON の場合、『完成図一作画』コマンドで作図した要素のみ選択することができます。

OFF の場合、全ての要素を選択することができます。

1-2 点(斜面对策工(点))

斜面对策工(点)を作図します。

操作方法

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. 配置位置を指示して下さい。(右ボタンで終了)【要素選択設定:ダイアログ】【座標指示モード】
3. 作図後1.に戻ります。

◆ 属性入力:ダイアログ



説明

【図形】テキストボックス

選択された図形名称が表示されます。

【属性:共通】グループ

【設置日】エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

カレンダーを表示し日付を選択します。



[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

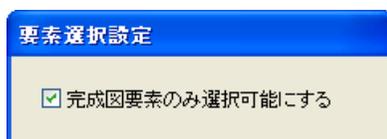
[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

◆ 要素選択設定:ダイアログ



説明

[完成図要素のみ選択可能にする]チェックボックス

ON の場合、『完成図 - 作図』コマンドで作図した要素のみ選択することができます。

OFF の場合、全ての要素を選択することができます。

1-3 点(測点)

測点を作図します。

操作方法

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. 配置位置を指示して下さい。【要素選択設定:ダイアログ】【座標指示モード】
3. 作図後1.に戻ります。

◆ 属性入力:ダイアログ

属性入力

図形

属性:共通

設置日 日付
※ 西暦年 不明

GIS_ID

属性:測点

測点番号

追加距離

高さ ※ -48.000 m ~ 2172.000 m

横断勾配(右) ※ -10.00 % ~ 10.00 %

横断勾配(左) ※ -10.00 % ~ 10.00 %

OK キャンセル ヘルプ

説明

【図形】テキストボックス

選択された図形名称が表示されます。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

設置日 2007/11/22

2007年11月						
日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8

今日: 2007/11/22

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

[属性:測点]グループ

[測点番号]エディットボックス

測点番号を入力します。

[追加距離]エディットボックス

追加距離を入力します。(小数点以下 3 桁、単位「m」)

[高さ]エディットボックス

高さを入力します。(小数点以下 3 桁、単位「m」)

[横断勾配(右)]エディットボックス

横断勾配(右)を入力します。(小数点以下 2 桁、単位「%」)

[横断勾配(左)]エディットボックス

横断勾配(右)を入力します。(小数点以下 2 桁、単位「%」)

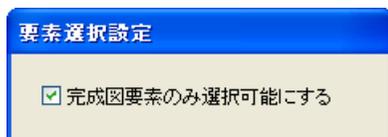
[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

ヒント

測点は「道路中心線」上に作図します。「道路中心線」上以外の位置では作図できません。

◆ 要素選択設定:ダイアログ



説明

[完成図要素のみ選択可能にする]チェックボックス

ON の場合、『完成図ー作図』コマンドで作図した要素のみ選択することができます。

OFF の場合、全ての要素を選択することができます。

1-4 点(測点一括)

測点を一括で作図します。

操作方法

1. 道路中心線を選択して下さい。(右ボタンで終了)【要素指示モード】
2. 属性データを入力して下さい。【測点一括入力:ダイアログ】
3. 基準位置を指示して下さい。【座標指示モード】
4. 作図方向を指示して下さい。
5. 作図後1. に戻ります。

◆ 測点一括入力:ダイアログ

設置日	測点番号	追加距離	高さ	横断勾配(左)	横断勾配(右)
2008/12/12	0+0.000	0.000	11.352	-2.00	-2.00
2008/12/12	1+0.000	20.000	11.411	-2.00	-2.00
2008/12/12	2+0.000	40.000	11.422	-2.00	-1.54
不明	3+0.000	60.000	11.341	-2.00	-1.21

測点一括入力

測点生成

一行上へ

一行下へ

一行挿入

一行削除

OK

キャンセル

ヘルプ

説明

【設置日】列

工事完了日を入力します。 yyyy(西暦年)/mm/dd形式か、不明の場合は漢字で「不明」と入力して下さい。

【測点番号】列

測点番号を入力します。

【追加距離】列

追加距離を入力します。

【高さ】列

高さを入力します。(単位m:範囲は-48.000m~2172.000mです。)

[横断勾配(左)]列

横断勾配(左)を入力します。(単位%:範囲は-10.00%~10.00%です。)

[横断勾配(右)]列

横断勾配(右)を入力します。(単位%:範囲は-10.00%~10.00%です。)

[測点生成]ボタン

測点等を自動発生させます。【測点生成:ダイアログ】

[一行上へ]ボタン

選択行を一行上に移動します。

[一行下へ]ボタン

選択行を一行下に移動します。

[一行挿入]ボタン

選択行の位置に一行空白行を挿入します。

[一行削除]ボタン

選択行を一行削除します。

[OK]ボタン

入力されたデータから測点を作図します。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

ヒント

セル上でマウス右ボタンメニューが有効です。セル間や Excel シート等とのコピー/貼り付けも可能です。測点生成では、測点を n+m 形式で生成しますので、距離形式の場合は、追加距離や他のシートなどからコピー/貼り付け機能をご利用下さい。

高さ、横断勾配(左)、横断勾配(右)が規定範囲外の値の場合は貼り付けできません。

このダイアログで入力した測点が、選択した道路中心線の外側にはみ出す場合は無視されます。

◆ 測点生成:ダイアログ

測点生成

設置日 2008/12/09 日付
※ 西暦年 不明

開始測点 0
終了測点 51
測点ピッチ 20.000 m

高さ 0 ※ -48.000 m ~ 2172.000 m
 横断勾配(右) -2 ※ -10.00 % ~ 10.00 %
 横断勾配(左) -2 ※ -10.00 % ~ 10.00 %

OK キャンセル ヘルプ

説明

[設置日]チェックボックス

チェックが ON の場合、測点一括入力に反映します。(チェックが OFF の場合設置日は空欄になります。)

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは  を押してカレンダーを表示し日付を選択します。(設置日のチェックが ON の場合有効です。)

設置日 2007/11/22

2007年11月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8

今日: 2007/11/22

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[開始測点]エディットボックス

開始測点番号(先頭の測点番号)を入力します。初期値は 0 です。

[終了測点]エディットボックス

終了測点番号(終端の測点番号)を入力します。初期値は開始を 0 として、選択した中心線の長さから 20mピッチで計算した番号がセットされます。

[測点ピッチ]エディットボックス

測点ピッチを入力します。初期値は 20mがセットされます。(追加距離の計算に用います。)

[高さ]チェックボックス

チェックが ON の場合、測点一括入力の高さ列に[高さ]エディットボックスで入力した値をセットします。(チェックが OFF の場合高さは空欄のままになります。)

[高さ]エディットボックス

高さを入力します。(高さのチェックが ON の場合有効です。)

[横断勾配(右)]チェックボックス

チェックが ON の場合、測点一括入力の横断勾配(右)列に[横断勾配(右)]エディットボックスで入力した値をセットします。(チェックが OFF の場合横断勾配(右)は空欄のままになります。)

[横断勾配(右)]エディットボックス

横断勾配(右)を入力します。(横断勾配(右)のチェックが ON の場合有効です。)

[横断勾配(左)]チェックボックス

チェックが ON の場合、測点一括入力の横断勾配(左)列に[横断勾配(左)]エディットボックスで入力した値をセットします。(チェックが OFF の場合横断勾配(左)は空欄のままになります。)

[横断勾配(左)]エディットボックス

横断勾配(左)を入力します。(横断勾配(左)のチェックが ON の場合有効です。)

[OK]ボタン

入力されたデータから測点等を生成し、測点一括入力ダイアログに値をセットします。

[キャンセル]ボタン

入力を無効にし、測点一括入力ダイアログに戻ります。

1-5 線

道路中心線など線図形を作図します。

操作方法

<折線の場合>

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. 1点目を指示して下さい。【要素選択設定:ダイアログ】【座標指示モード】
3. 次の点を指示して下さい。(右ボタンで終了)【座標指示モード】
4. 作図後1.に戻ります。

<線分の場合>

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. 始点を指示して下さい。【要素選択設定:ダイアログ】【座標指示モード】
3. 終点を指示して下さい。(右ボタンで終了)【座標指示モード】
4. 作図後1.に戻ります。

<円弧の場合>

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. 1点目を指示して下さい。【要素選択設定:ダイアログ】【座標指示モード】
3. 2点目を指示して下さい。【座標指示モード】
4. 通過点を指示して下さい。【座標指示モード】
5. 作図後1.に戻ります。

<クロソイドの場合>※道路中心線の場合のみ選択可能です。

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. タイプを設定して下さい。【クロソイド曲線の作図:ダイアログ】
3. 基準点座標を指示して下さい。【要素選択設定:ダイアログ】【座標指示モード】
4. 基準点方向角を入力して下さい。【角度入力モード】
5. 作図後1.に戻ります。

◆ 属性入力:ダイアログ

属性入力

図形: 道路中心線

属性: 共通

設置日: 2007/11/22 (日付) ※ 西暦年 (不明)

GIS_ID

OK キャンセル ヘルプ

説明

[図形]コンボボックス

選択された図形名称が表示されます。

コンボボックスのリストを表示することで他の線図形に切り替えることも可能です。

[属性: 共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは

カレンダーを表示し日付を選択します。

設置日: 2007/11/22

2007年11月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8

ID

属性: 距離

泉番号

区分

今日: 2007/11/22



を押して

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

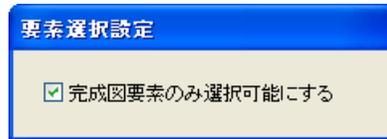
[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

◆ 要素選択設定:ダイアログ

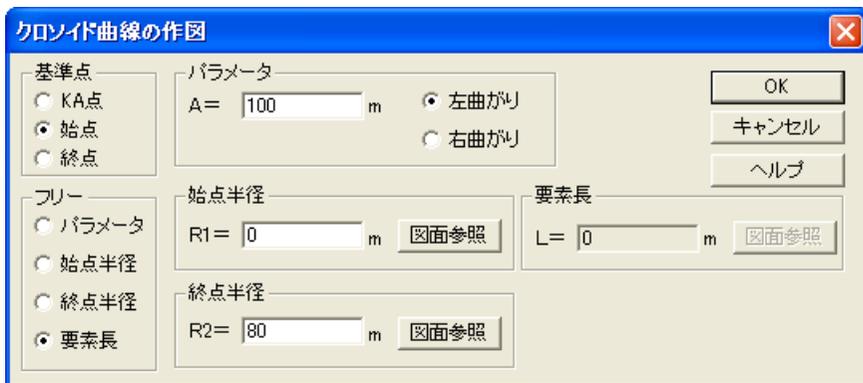


説明

[完成図要素のみ選択可能にする]チェックボックス

ON の場合、『完成図一作画』コマンドで作図した要素のみ選択することができます。
OFF の場合、全ての要素を選択することができます。

◆ クロソイド曲線の作図:ダイアログ



説明

[基準点]グループ

図面配置時の基準点を選択します。基準点は KA 点、始点、終点から選択します。

[フリー]グループ

クロソイド曲線の4種類の項目(パラメータ、始点半径、終点半径、要素長)の中で自動的に算出する項目を選択します。選択された項目は入力できません。

[パラメータ]グループ

[パラメータ]エディットボックス

クロソイド曲線のパラメータを入力します。単位はmです。

[曲り方向]ラジオボタン

クロソイド曲線の曲り方向を右曲がりか左曲がりかを選択します。

[始点半径、終点半径]グループ

[始点半径、終点半径]エディットボックス

クロソイド曲線の始点半径、終点半径を入力します。単位はmです。

始点半径は終点半径より必ず大きいものとします。半径が無限大の場合は、0 を入力します。

[図面参照]ボタン

図面から半径を取得します。【距離入力モード】

[要素長]グループ

[要素長]エディットボックス

クロソイド曲線の要素長を入力します。単位はmです。

[図面参照]ボタン

図面から要素長を取得します。【距離入力モード】

ヒント

フリーのパラメータの算出方法

公式 $L = A^2 / R$

L: KA 点から任意点までの曲線長

A: クロソイド曲線のパラメータ

R: 任意点での半径

この式よりフリーの項目の値を計算します。

本ダイアログはV・nas共通コマンド『作図ークロソイドー自動拘束』で表示されるものと同じ内容ですが、道路工事完成図の道路中心線に使用するため、長さの単位はmに設定しています。

クロソイドに交差する要素との交点を取得する場合は、【座標指示ツールパネル】の[延長交点]をご使用下さい。クロソイドの表示は点列分解された直線でクロソイドを表示しています。そのため、大きく拡大表示して【座標指示ツールパネル】の[交点]で交点取得を行うと、交点が取れないことがあります。それは、画面上で見えている交差位置と内部的な交差位置が異なるためです。これは、座標指示ツールパネルの[交点]だけでなく[自動]も同じことがいえます。[自動]で取得すると、交点が見つからない場合、要素上の点を取得してきてしまい、内部の交差位置とズレがでる恐れがありますのでお気をつけ下さい。

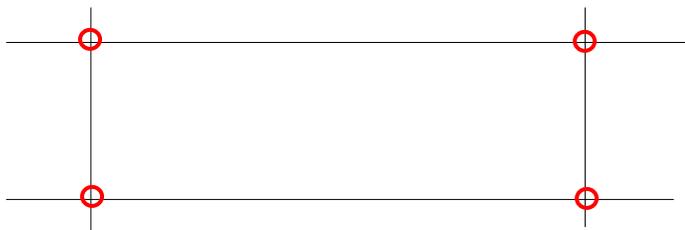
1-6 面

車道部など面図形を作図します。

面図形の場合、作図方法(座標指定、要素指定、領域指定)により操作が異なります。

1-6-1 面(座標指定)

領域の頂点座標を指示することにより作図します。



操作方法

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. 境界線の頂点を指示して下さい。【要素選択設定:ダイアログ】【座標指示モード】(1点目)
3. 境界線の頂点を指示して下さい。【座標指示モード】(2点目)
4. 境界線の頂点を指示して下さい。(右ボタンで終了)【座標指示モード】(3点目以降)
5. 枠線の登録を終了するか、新たに内枠線を追加するか選択して下さい。【境界線の登録:ダイアログ】
6. 終了の場合1.に戻ります。追加の場合、2.以降の操作で中抜き形状を指示し、5.までの操作を繰り返します。

◆ 属性入力:ダイアログ



説明

[図形]コンボボックス

選択された図形名称が表示されます。

コンボボックスのリストを表示することで他の面図形に切り替えることも可能です。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは

カレンダーを表示し日付を選択します。



を押して

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

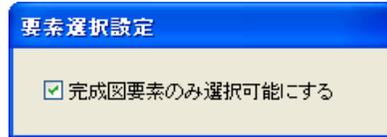
[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

◆ 要素選択設定:ダイアログ

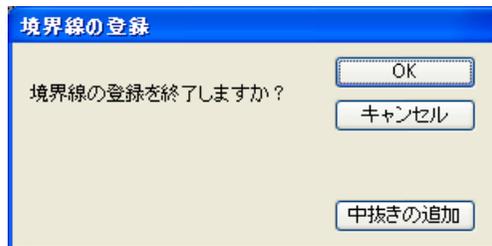


説明

[完成図要素のみ選択可能にする]チェックボックス

ON の場合、『完成図一作図』コマンドで作図した要素のみ選択することができます。
OFF の場合、全ての要素を選択することができます。

◆ 境界線の登録:ダイアログ



説明

[OK]ボタン

指示された頂点座標で、面領域を確定します。

[キャンセル]ボタン

頂点座標の指示に戻ります。

[中抜きの追加]ボタン

中空形状領域の頂点座標指示に進みます。

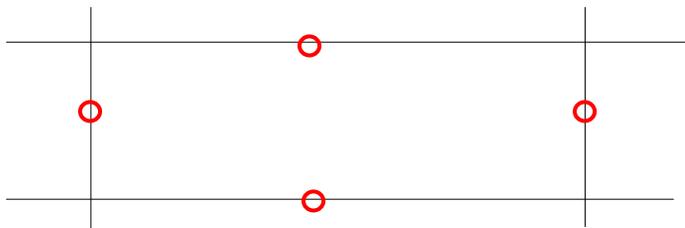
ヒント

本機能では面の境界線は折線のみ作図可能です。円弧を使用する場合は、汎用の『作図』コマンドで境界線をあらかじめ作図後、要素指定もしくは領域指定の方法で作図して下さい。

面図形で車道部と歩道部の境界など道路面同士は正確に接している必要があります。対象図形をあらかじめ『ツール－基点表示－選択』コマンドで選択しておく、境界線上の構成点が表示されますので、正確にスナップすることが容易となります。

1-6-2 面(要素指定)

領域を構成する要素を指示することにより作図します。



※選択する要素で領域が閉じている必要があります。

操作方法

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. 境界要素を指示して下さい。【要素選択設定:ダイアログ】【要素指示モード】 (1 要素目)

<ハッチング以外の要素を選択した場合>

3. 境界要素を指示して下さい。(右ボタンで終了)【座標指示モード】 (2 要素目以降)
4. 枠線の登録を終了するか、新たに内枠線を追加するか選択して下さい。【境界線の登録:ダイアログ】
5. 終了の場合1. に戻ります。追加の場合、2. 以降の操作で中抜き形状を指示し、操作を繰り返します。

<ハッチング要素を選択した場合>

3. ハッチング枠上の始点を指示して下さい。【座標指示モード】
4. ハッチング枠上の終点を指示して下さい。【座標指示モード】
5. (候補が複数ある場合) 選択する枠を指示して下さい。【座標指示モード】
6. (候補が複数ある場合) 境界要素を指示して下さい。(右ボタンで終了)
7. 枠線の登録を終了するか、新たに内枠線を追加するか選択して下さい。【境界線の登録:ダイアログ】
8. 終了の場合1. に戻ります。追加の場合、2. 以降の操作で中抜き形状を指示し、操作を繰り返します。

ヒント

面領域の枠要素として選択した要素に重なりや微小な離れが存在する場合、枠要素を自動で修正して面領域を作図します。

◆ 属性入力:ダイアログ



説明

[図形]コンボボックス

選択された図形名称が表示されます。

コンボボックスのリストを表示することで他の面図形に切り替えることも可能です。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは

カレンダーを表示し日付を選択します。



を押して

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

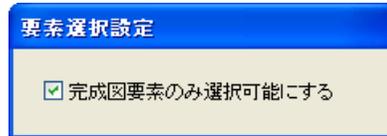
[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

◆ 要素選択設定:ダイアログ

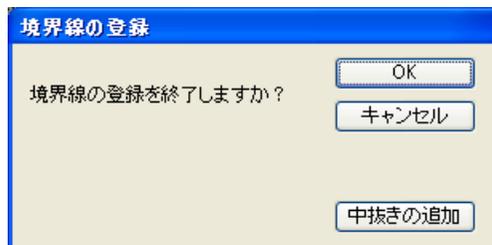


説明

[完成図要素のみ選択可能にする]チェックボックス

ON の場合、『完成図一作図』コマンドで作図した要素のみ選択することができます。
OFF の場合、全ての要素を選択することができます。

◆ 境界線の登録:ダイアログ



説明

[OK]ボタン

指示された頂点座標で、面領域を確定します。

[キャンセル]ボタン

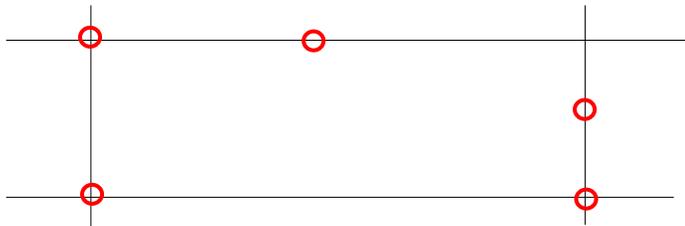
頂点座標の指示に戻ります。

[中抜き追加]ボタン

中空形状領域の頂点座標指示に進みます。

1-6-3 面(座標+要素)

領域の頂点座標、または領域を構成する要素を指示することにより作図します。



※要素を指示する場合は、選択する要素で領域が閉じている必要があります。

操作方法

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. 境界を指示して下さい。(右ボタンで終了)【要素選択設定:ダイアログ】【入力選択:ダイアログ】

<座標入力または要素入力で、ハッチング以外の要素を選択した場合>

3. 枠線の登録を終了するか、新たに内枠線を追加するか選択して下さい。【境界線の登録:ダイアログ】
4. 終了の場合1.に戻ります。追加の場合、2.以降の操作で中抜き形状を指示し、操作を繰り返します。

<要素(範囲指定)入力で、ハッチング以外の要素を選択した場合>

3. 要素上の始点を指示して下さい。【座標指示モード】
4. 要素上の終点を指示して下さい。【座標指示モード】
5. 枠線の登録を終了するか、新たに内枠線を追加するか選択して下さい。【境界線の登録:ダイアログ】
6. 終了の場合1.に戻ります。追加の場合、2.以降の操作で中抜き形状を指示し、操作を繰り返します。

<要素入力または要素(範囲指定)入力で、ハッチング要素を選択した場合>

3. ハッチング枠上の始点を指示して下さい。【座標指示モード】
4. ハッチング枠上の終点を指示して下さい。【座標指示モード】
5. (候補が複数ある場合)選択する枠を指示して下さい。【座標指示モード】
6. (候補が複数ある場合)境界要素を指示して下さい。(右ボタンで終了)
7. 枠線の登録を終了するか、新たに内枠線を追加するか選択して下さい。【境界線の登録:ダイアログ】
8. 終了の場合1.に戻ります。追加の場合、2.以降の操作で中抜き形状を指示し、操作を繰り返します。

◆ 属性入力:ダイアログ



説明

[図形]コンボボックス

選択された図形名称が表示されます。

コンボボックスのリストを表示することで他の面図形に切り替えることも可能です。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは

カレンダーを表示し日付を選択します。



を押して

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

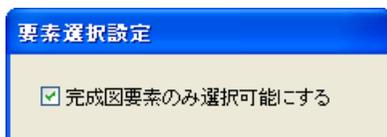
[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

◆ 要素選択設定:ダイアログ

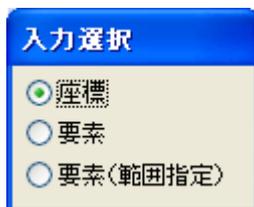


説明

[完成図要素のみ選択可能にする]チェックボックス

ON の場合、『完成図一作図』コマンドで作図した要素のみ選択することができます。
OFF の場合、全ての要素を選択することができます。

◆ 入力選択:ダイアログ



説明

[座標] ラジオボタン

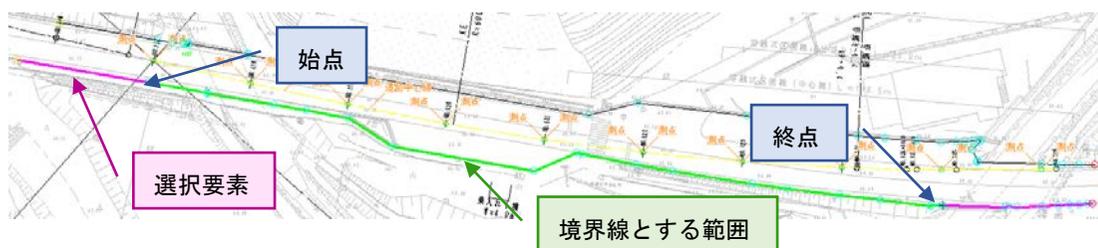
境界線の頂点を指示する場合に選択します。

[要素]ラジオボタン

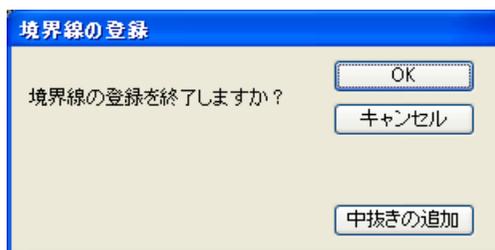
境界線の要素を指示する場合に選択します。

[要素(範囲指定)]ラジオボタン

選択要素の要素上から始点、終点を指示して、その間の範囲を境界線とする場合に選択します。



◆ 境界線の登録:ダイアログ



説明

[OK]ボタン

指示された頂点座標で、面領域を確定します。

[キャンセル]ボタン

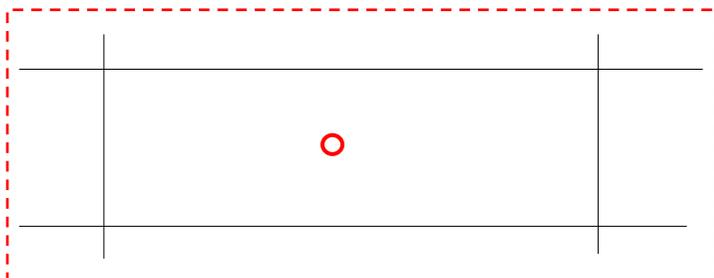
頂点座標の指示に戻ります。

[中抜き追加]ボタン

中空形状領域の頂点座標指示に進みます。

1-6-4 面(領域指定)

領域範囲と領域内の一点を指示することにより作図します。



※選択範囲内の要素で領域が閉じている必要があります。

操作方法

1. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
2. 対象領域を指示して下さい。(右ボタンで終了)【要素選択設定:ダイアログ】【要素指示モード】
領域が包含されるように範囲選択して下さい。
3. 閉図形内の点を指示して下さい。(右ボタンで終了)
(右ボタンで確定するまで、複数の領域を指示することも可能です。)
4. 右ボタンで確定されると1.に戻ります。

◆属性入力:ダイアログ

A screenshot of a software dialog box titled "属性入力" (Attribute Input). At the top, there is a dropdown menu labeled "図形" (Shape) with "車道部" (Roadway) selected. Below this is a section titled "属性:共通" (Common Attributes). It contains a date field labeled "設置日" (Installation Date) with the value "2007/11/22" and a calendar icon, and a radio button labeled "日付" (Date) which is selected. Below the date field is the text "※ 西暦年" (※ Gregorian year). There is also a radio button labeled "不明" (Unknown) which is not selected. Below the "属性:共通" section is a text input field labeled "GIS_ID" which is currently empty. At the bottom of the dialog are three buttons: "OK", "キャンセル" (Cancel), and "ヘルプ" (Help).

説明

[図形]コンボボックス

選択された図形名称が表示されます。

コンボボックスのリストを表示することで他の面図形に切り替えることも可能です。

【属性:共通】グループ

【設置日】エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

設置日 2007/11/22

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8

今日: 2007/11/22

【日付】ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

【不明】ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

【GIS_ID】スタティックテキスト

入力の必要はありません。

【キャンセル】ボタン

コマンドを終了します。

◆ 要素選択設定:ダイアログ

要素選択設定

完成図要素のみ選択可能にする

説明

【完成図要素のみ選択可能にする】チェックボックス

ON の場合、『完成図－作図』コマンドで作図した要素のみ選択することができます。

OFF の場合、全ての要素を選択することができます。

2 編集

2-1 属性付与

『完成図－編集－属性付与』

機能

作図されている要素に完成平面図の属性を付与します。

操作方法

1. 図形名称を選択して下さい。【図形名称選択:ダイアログ】
2. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
3. 属性を付与する要素を選択して下さい。【単要素選択モード】（距離標の場合）
3. 属性を付与する要素を選択して下さい。(右ボタンで終了)【要素選択モード】（距離標以外の場合）
4. 既に属性が付与されている要素を選択した場合は確認表示があります。【属性付与確認:ダイアログ】
5. 2. に戻ります。

ヒント

選択した面領域の枠要素に重なりや微小な離れが存在する場合、枠要素を自動で修正した面領域に対して属性付与を行います。

◆図形名称選択:ダイアログ

図形名称		
点		
<input checked="" type="radio"/> 距離標	<input type="radio"/> 斜面对策工(点)	<input type="radio"/> 測点
線		
<input type="radio"/> 道路中心線	<input type="radio"/> 管理区域界	<input type="radio"/> 区画線
<input type="radio"/> 停止線	<input type="radio"/> 斜面对策工(線)	
面(道路面)		
<input type="radio"/> 車道部	<input type="radio"/> 車道交差部	<input type="radio"/> 踏切道
<input type="radio"/> 軌道敷	<input type="radio"/> 島	<input type="radio"/> 路面電車停留所
<input type="radio"/> 歩道部	<input type="radio"/> 自転車駐車場	<input type="radio"/> 自動車駐車場
面(道路面以外)		
<input type="radio"/> 植栽	<input type="radio"/> 横断歩道	<input type="radio"/> 横断歩道橋
<input type="radio"/> 地下横断歩道	<input type="radio"/> 建築物	<input type="radio"/> 橋脚
<input type="radio"/> 盛土法面	<input type="radio"/> 切土法面	<input type="radio"/> 斜面对策工(面)
<input type="radio"/> 擁壁	<input type="radio"/> ボックスカルバート	<input type="radio"/> シェッド
<input type="radio"/> シェルター	<input type="radio"/> 橋梁	<input type="radio"/> トンネル

属性付与 > キャンセル ヘルプ

説明

[図形名称]グループ

名称一覧からラジオボタンで選択して下さい。

[属性付与]ボタン

選択された図形の属性付与に進みます。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

◆属性入力:ダイアログ

<距離標の場合>

属性入力

図形

属性:共通

設置日 日付
※ 西暦年 不明

GIS_ID

属性:距離標

路線番号 ※ 1~999

現旧区分

上下区分

接頭文字

距離程 ※ km:小数点以下2桁

種別

経度 ° ′ ″ ※ 経度・緯度の秒単位は
小数以下4桁入力

緯度 ° ′ ″

高さ ※ -48,000 m
~ 2172,000 m
(不明:9999.999)

緯度経度の値に従い配置する。

説明

[図形]テキストボックス

選択された図形名称が表示されます。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

カレンダーを表示し日付を選択します。

設置日	2007/11/22	▼						
	< 2007年11月 >							
	日	月	火	水	木	金	土	
_ID	28	29	30	31	1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
E:距離	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
泉番号	25	26	27	28	29	30	1	
	2	3	4	5	6	7	8	
区分	☐ 今日: 2007/11/22							▼

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト

入力する必要はありません。

[属性:距離標]グループ

[路線番号]エディットボックス

距離標が設置されている路線の番号を入力します。

新直轄方式による整備などで、国道番号が割り当てられない場合は 999 を入力します。

[現旧区分]コンボボックス

距離標が設置されている路線が現道の場合は 1、旧道の場合は2、新道の場合は3を選択して下さい。

[上下区分]コンボボックス

距離標の用途が上下線共通の場合は 0、上り線用の場合は1、下り線用の場合は2を選択して下さい。

[接頭文字]コンボボックス

距離標を識別するための接頭文字を無い場合は1、B の場合は2、BP の場合は3を選択して下さい。

[距離程]エディットボックス

起点からの距離程数値を実数値で入力します。(小数点以下 1 桁、単位「km」)

測点で代用する場合は追加距離を入力します。(小数点以下2桁、単位「km」)

[種別]コンボボックス

距離標の種別が0、1kpの場合は1、1kpの場合は2、測点の場合は3を選択して下さい。

[経度]エディットボックス

距離標の設置中心位置の経度を入力します。秒単位は小数以下4桁まで入力します。

[緯度]エディットボックス

距離標の設置中心位置の緯度を入力します。秒単位は小数以下4桁まで入力します。

[高さ]エディットボックス

距離標の路面上の設置中心位置の高さ(T.P)を入力します。(小数点以下3桁、単位「m」)
測点で代用する場合は設計時に用いた計画路面高を入力します。

[参照点変換]ボタン

要領では、距離標を測点で代用する場合は、経度・緯度は設計時に用いた座標値を変換して入力
とされています。

この座標値を図面上から直接取得し、自動変換することが可能です。

「参照点変換」ボタンを押すと「変換の基準点を指示して下さい。」と表示されますので、設置する位
置を指示して下さい。

自動的に指示した位置の座標値を経度・緯度に変換してセットされます。

[系番号]コンボボックス

図面上の座標から経緯度に変換する場合は工事場所に応じて系番号を設定して下さい。

系番号	該当地域
1	長崎県 鹿児島県(一部離島)
2	福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県(一部離島を除く)
3	山口県 島根県 広島県
4	香川県 愛媛県 徳島県 高知県
5	兵庫県 鳥取県 岡山県
6	京都府 大阪府 福井県 滋賀県 三重県 奈良県 和歌山県
7	石川県 富山県 岐阜県 愛知県
8	新潟県 長野県 山梨県 静岡県
9	東京都(一部離島を除く) 福島県 栃木県 茨城県 埼玉県 千葉県 群馬県 神奈川県
10	青森県 秋田県 山形県 岩手県 宮城県
11	北海道の以下の地域 小樽市 函館市 北斗市 伊達市 檜山支庁 後志支庁 渡島支庁 有珠郡 虻田郡
12	北海道の以下の地域

	札幌市 旭川市 稚内市 留萌市 美唄市 夕張市 岩見沢市 苫小牧市 室蘭市 士別市 名寄市 芦別市 赤平市 三笠市 滝川市 砂川市 江別市 千歳市 歌志内市 深川市 紋別市 恵庭市 北広島市 石狩市 石狩支庁 上川支庁 宗谷支庁 日高支庁 空知支庁 留萌支庁 紋別郡 胆振支庁(有珠郡、虻田郡を除く)
13	北海道の以下の地域 北見市 帯広市 釧路市 網走市 根室市 根室支庁 釧路支庁 十勝支庁 網走支庁(紋別郡を除く)
14	東京都小笠原村 (北緯 28° 以南、東経 140° 30' 以東 143° 以西)
15	沖縄県の以下の地域 那覇市 うるま市 宜野湾市 浦添市 名護市 糸満市 沖縄市 南城市 国頭村 大宜味村 東村 今帰仁村 本部町 恩納村 宜野座村 金武村 伊江村 読谷村 嘉手納町 北谷村 北中城村 中城村 西原町 豊見城村 八重瀬町 与那原町 南風原町 仲里村 具志川村 渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村 伊平屋村 伊是名村
16	沖縄県の以下の地域 宮古島市 石垣市 多良間町 竹富町 与那国町
17	沖縄県南大東村 北大東村
18	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 140° 30' 以西 (沖ノ鳥島))
19	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 143° 以東 (南鳥島))

離島部等詳細は国土地理院サイトなどをご参照下さい。

[緯度経度の値に従い配置する]チェックボックス

チェックを ON にすると、入力されている緯度経度と系番号の値に従い座標変換を行い、現在の図面上の座標位置に距離標を配置します。変換結果により要素が移動する場合があります。チェックが OFF の場合は要素の配置位置は変化しません。

座標変換は、現在のスケールと座標系を元に行いますので、あらかじめ座標系の設定を行ってください。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

<測点の場合>

説明

[図形]テキストボックス

選択された図形名称が表示されます。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

カレンダーを表示し日付を選択します。

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

【属性:測点】グループ

[測点番号]エディットボックス

測点番号を入力します。

[追加距離]エディットボックス

追加距離を入力します。(小数点以下 3 桁、単位「m」)

[高さ]エディットボックス

高さを入力します。(小数点以下 3 桁、単位「m」)

[横断勾配(右)]エディットボックス

横断勾配(右)を入力します。(小数点以下 2 桁、単位「%」)

[横断勾配(左)]エディットボックス

横断勾配(右)を入力します。(小数点以下 2 桁、単位「%」)

【キャンセル】ボタン

コマンドを終了します。

ヒント

測点は「道路中心線」上に作図します。「道路中心線」上以外の位置に存在する図形には属性付与できません。

<距離標、測点以外の場合>



説明

[図形]コンボボックス

選択された図形名称が表示されます。

コンボボックスのリストを表示することで他の図形に切り替えることも可能です。

[属性: 共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは

カレンダーを表示し日付を選択します。



[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

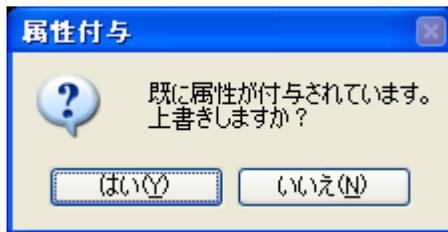
[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

◆属性付与確認:ダイアログ



説明

属性付与で選択された要素が既に属性が付与されていた場合に、上書きしてよいか確認します。

[はい]ボタン

属性情報を上書きして、属性入力に戻ります。

[いいえ]ボタン

選択を取り消し、属性入力に戻ります。

2-2 属性削除

『完成図－編集－属性削除』

機能

付与されている属性を削除します。

操作方法

1. 属性を削除する要素を選択して下さい。(右ボタンで終了)【要素選択モード】【地物属性フィルタ】

ヒント

属性を削除した要素のレイヤは、「属性なし_」+「(元のレイヤ名)」レイヤに変更されます。

(例) 車道部の属性を削除した場合

属性を削除する前の要素のレイヤ名:「C-STR-STRZ-ROADWAY」

属性を削除した後の要素のレイヤ名:「属性なし_C-STR-STRZ-ROADWAY」

色、線種、線幅等は変更されません。

◆地物属性:フィルタ



説明

[地物要素選択]リスト

地物属性ごとの ON・OFF を選択します。チェックボックスが ON の場合、その属性は選択可能になります。

[全 ON]ボタン

点、線、面(道路面)、面(道路面以外)のそれぞれのリストに表示された項目をすべて選択します。

[全 OFF]ボタン

点、線、面(道路面)、面(道路面以外)のそれぞれのリストに表示された項目をすべて解除します。

[全 ON]ボタン

グループ内のすべての要素を選択します。

[全 OFF]ボタン

グループ内の選択された要素をすべて解除します。

2-3 属性変更

『完成図－編集－属性変更』

機能

付与されている属性を変更します。

操作方法

1. 属性を変更する要素を選択して下さい。(右ボタンで終了)【要素選択モード】【地物属性フィルタ】
2. 属性を変更して下さい。【属性入力:ダイアログ】
3. 操作1. に戻ります。

ヒント

選択した面領域の枠要素に重なりや微小な離れが存在する場合、枠要素の自動で修正した面領域に対して属性変更を行います。

◆地物属性:フィルタ



説明

[地物要素選択]リスト

地物属性ごとの ON・OFF を選択します。チェックボックスが ON の場合、その属性は選択可能になります。

[全 ON]ボタン

点、線、面(道路面)、面(道路面以外)のそれぞれのリストに表示された項目をすべて選択します。

[全 OFF]ボタン

点、線、面(道路面)、面(道路面以外)のそれぞれのリストに表示された項目をすべて解除します。

[全 ON]ボタン

グループ内のすべての要素を選択します。

[全 OFF]ボタン

グループ内の選択された要素をすべて解除します。

◆属性入力:ダイアログ

<距離標の場合>

説明

[図形]テキストボックス

選択された図形名称が表示されます。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

カレンダーを表示し日付を選択します。

設置日	2007/11/22	▼						
	◀ 2007年11月 ▶							
	日	月	火	水	木	金	土	
_ID	28	29	30	31	1	2	3	
	4	5	6	7	8	9	10	
E:距離	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
泉番号	25	26	27	28	29	30	1	
	2	3	4	5	6	7	8	
区分	<input type="checkbox"/> 今日: 2007/11/22							▼

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト

入力する必要はありません。

[属性:距離標]グループ

[路線番号]エディットボックス

距離標が設置されている路線の番号を入力します。

新直轄方式による整備などで、国道番号が割り当てられない場合は 999 を入力します。

[現旧区分]コンボボックス

距離標が設置されている路線が現道の場合は 1、旧道の場合は2、新道の場合は3を選択して下さい。

[上下区分]コンボボックス

距離標の用途が上下線共通の場合は 0、上り線用の場合は1、下り線用の場合は2を選択して下さい。

[接頭文字]コンボボックス

距離標を識別するための接頭文字を無い場合は1、B の場合は2、BP の場合は3を選択して下さい。

[距離程]エディットボックス

起点からの距離程数値を実数値で入力します。(小数点以下 1 桁、単位「km」)

測点で代用する場合は追加距離を入力します。(小数点以下2桁、単位「km」)

[種別]コンボボックス

距離標の種別が0、1kpの場合は1、1kpの場合は2、測点の場合は3を選択して下さい。

[経度]エディットボックス

距離標の設置中心位置の経度を入力します。秒単位は小数以下 4 桁まで入力します。

[緯度]エディットボックス

距離標の設置中心位置の緯度を入力します。秒単位は小数以下 4 桁まで入力します。

[高さ]エディットボックス

距離標の路面上の設置中心位置の高さ(T.P)を入力します。(小数点以下 3 桁、単位「m」)
測点で代用する場合は設計時に用いた計画路面高を入力します。

[参照点変換]ボタン

要領では、距離標を測点で代用する場合は、経度・緯度は設計時に用いた座標値を変換して入力
とされています。

この座標値を図面上から直接取得し、自動変換することが可能です。

「参照点変換」ボタンを押すと「変換の基準点を指示して下さい。」と表示されますので、設置する位置を指示して下さい。

自動的に指示した位置の座標値を経度・緯度に変換してセットされます。

[系番号]コンボボックス

図面上の座標から経緯度に変換する場合は工事場所に応じて系番号を設定して下さい。

系番号	該当地域
1	長崎県 鹿児島県(一部離島)
2	福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県(一部離島を除く)
3	山口県 島根県 広島県
4	香川県 愛媛県 徳島県 高知県
5	兵庫県 鳥取県 岡山県
6	京都府 大阪府 福井県 滋賀県 三重県 奈良県 和歌山県
7	石川県 富山県 岐阜県 愛知県
8	新潟県 長野県 山梨県 静岡県
9	東京都(一部離島を除く) 福島県 栃木県 茨城県 埼玉県 千葉県 群馬県 神奈川県
10	青森県 秋田県 山形県 岩手県 宮城県
11	北海道の以下の地域 小樽市 函館市 北斗市 伊達市 檜山支庁 後志支庁 渡島支庁 有珠郡 虻田郡

系番号	該当地域
12	北海道の以下の地域 札幌市 旭川市 稚内市 留萌市 美唄市 夕張市 岩見沢市 苫小牧市 室蘭市 士別市 名寄市 芦別市 赤平市 三笠市 滝川市 砂川市 江別市 千歳市 歌志内市 深川市 紋別市 恵庭市 北広島市 石狩市 石狩支庁 上川支庁 宗谷支庁 日高支庁 空知支庁 留萌支庁 紋別郡 胆振支庁(有珠郡、虻田郡を除く)
13	北海道の以下の地域 北見市 帯広市 釧路市 網走市 根室市 根室支庁 釧路支庁 十勝支庁 網走支庁(紋別郡を除く)
14	東京都小笠原村 (北緯 28° 以南、東経 140° 30' 以東 143° 以西)
15	沖縄県の以下の地域 那覇市 うるま市 宜野湾市 浦添市 名護市 糸満市 沖縄市 南城市 国頭村 大宜味村 東村 今帰仁村 本部町 恩納村 宜野座村 金武村 伊江村 読谷村 嘉手納町 北谷村 北中城村 中城村 西原町 豊見城村 八重瀬町 与那原町 南風原町 仲里村 具志川村 渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村 伊平屋村 伊是名村
16	沖縄県の以下の地域 宮古島市 石垣市 多良間町 竹富町 与那国町
17	沖縄県南大東村 北大東村
18	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 140° 30' 以西 (沖ノ島))
19	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 143° 以東 (南鳥島))

離島部等詳細は国土地理院サイトなどをご参照下さい。

[緯度経度の値に従い配置する]チェックボックス

チェックを ON にすると、入力されている緯度経度と系番号の値に従い座標変換を行い、現在の図面上の座標位置に距離標を配置します。変換結果により要素が移動する場合があります。チェックが OFF の場合は要素の配置位置は変化しません。

座標変換は、現在のスケールと座標系を元に行いますので、あらかじめ座標系の設定を行ってください。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

<測点の場合>

説明

[図形]テキストボックス

選択された図形名称が表示されます。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

カレンダーを表示し日付を選択します。

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン
設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト
入力はありません。

[属性:測点]グループ

[測点番号]エディットボックス
測点番号を入力します。

[追加距離]エディットボックス
追加距離を入力します。(小数点以下 3 桁、単位「m」)

[高さ]エディットボックス
高さを入力します。(小数点以下 3 桁、単位「m」)

[横断勾配(右)]エディットボックス
横断勾配(右)を入力します。(小数点以下 2 桁、単位「%」)

[横断勾配(左)]エディットボックス
横断勾配(右)を入力します。(小数点以下 2 桁、単位「%」)

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

< 距離標、測点以外の場合 >

説明

[図形]コンボボックス

選択された図形名称が表示されます。
コンボボックスのリストを表示することで他の図形に切り替えることも可能です。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

カレンダーを表示し日付を選択します。

設置日	2007/11/22	▼																																																															
ID	<table border="1"><tr><td colspan="7">2007年11月</td></tr><tr><td><</td><td colspan="5"></td><td>></td></tr><tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr><tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr><tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr><tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr><tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td></tr></table>		2007年11月							<						>	日	月	火	水	木	金	土	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8
2007年11月																																																																	
<						>																																																											
日	月	火	水	木	金	土																																																											
28	29	30	31	1	2	3																																																											
4	5	6	7	8	9	10																																																											
11	12	13	14	15	16	17																																																											
18	19	20	21	22	23	24																																																											
25	26	27	28	29	30	1																																																											
2	3	4	5	6	7	8																																																											
区:距離																																																																	
泉番号																																																																	
区分	<input type="checkbox"/> 今日: 2007/11/22	▼																																																															

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

[キャンセル]ボタン

操作1に戻ります。

<選択した地物が距離標だけの場合>

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは

カレンダーを表示し日付を選択します。



を押して

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

[属性:距離標]グループ

[路線番号]エディットボックス

距離標が設置されている路線の番号を入力します。

新直轄方式による整備などで、国道番号が割り当てられない場合は **999** を入力します。

[現旧区分]コンボボックス

距離標が設置されている路線が現道の場合は **1**、旧道の場合は**2**、新道の場合は**3**を選択して下さい。

[上下区分]コンボボックス

距離標の用途が上下線共通の場合は **0**、上り線用の場合は**1**、下り線用の場合は**2**を選択して下さい。

[接頭文字]コンボボックス

距離標を識別するための接頭文字を無い場合は**1**、**B** の場合は**2**、**BP** の場合は**3**を選択して下さい。

[種別]コンボボックス

距離標の種別が**0**、**1kp**の場合は**1**、**1kp**の場合は**2**、測点の場合は**3**を選択して下さい。

[キャンセル]ボタン

入力をキャンセルし、操作**1**に戻ります。

< 選択した地物が距離標以外の地物を含む場合 >

説明

[属性: 共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

カレンダーを表示し日付を選択します。

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト

入力の必要はありません。

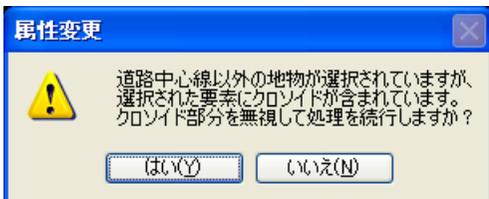
[キャンセル]ボタン

入力をキャンセルし、操作1に戻ります。

ヒント

< 選択された要素が線図形で、クロソイド要素が含まれている場合 >

[図形]コンボボックスで、「道路中心線」以外を選択すると、以下のメッセージが表示されます。



「はい」ボタンを選択した場合、クロソイド要素以外の要素に選択した属性を設定し、クロソイド要素の属性は変更されません。

「いいえ」ボタンを選択すると、操作 2 に戻ります。

2-4 属性複写

『完成図－編集－属性複写』

機能

付与されている属性を別の要素に複写します。

操作方法

1. 属性を複写する要素を選択して下さい。【要素選択モード】
2. 対象となる要素を選択して下さい。(右ボタンで終了)【要素選択モード】
3. 操作1. に戻ります。

ヒント

距離標は経度・緯度などが異なるため、選択できません。

2-5 中心線属性付与

『完成図－編集－中心線属性付与』

機能

線形コマンドで作図された道路中心線に、地物の道路中心線属性と測点属性を付与します。

操作方法

1. 線形コマンドで作図した中心線を選択して下さい。【要素選択モード】
2. 中心線に付与する属性を設定してください。【道路中心線属性設定:ダイアログ】
3. 操作1. に戻ります。

◆道路中心線属性設定:ダイアログ

道路中心線属性設定

道路中心線属性

設置日 2014/08/25 日付
※ 西暦年 不明

測点属性

設置日	測点番号	追加距離	高さ	横断勾配(左)	横断勾配(右)
2014/08/25	0+0.000	0.000	108.000	-2.00	-2.00
2014/08/25	1+0.000	20.000	109.333	-2.00	-2.00
2014/08/25	2+0.000	40.000	110.667	-2.00	-2.00
2014/08/25	3+0.000	60.000	112.000	-2.00	-2.00
2014/08/25	4+0.000	80.000	113.333	-2.00	-2.00
2014/08/25	5+0.000	100.000	114.667	-2.00	-0.91
2014/08/25	6+0.000	120.000	116.000	-3.35	3.35
2014/08/25	7+0.000	140.000	117.333	-6.00	6.00
2014/08/25	8+0.000	160.000	118.667	-6.00	6.00
2014/08/25	9+0.000	180.000	120.000	-6.00	6.00
2014/08/25	10+0.000	200.000	121.333	-5.55	5.55
2014/08/25	11+0.000	220.000	122.667	-2.00	1.29
2014/08/25	12+0.000	240.000	124.000	-2.00	-2.00
2014/08/25	13+0.000	260.000	125.333	-2.00	-2.00
2014/08/25	14+0.000	280.000	126.667	-2.00	-2.00
2014/08/25	15+0.000	300.000	127.917	-2.00	-2.00
2014/08/25	16+0.000	320.000	129.003	-1.45	-2.00
2014/08/25	17+0.000	340.000	130.005	2.82	-2.82
2014/08/25	18+0.000	360.000	131.008	6.00	-6.00
2014/08/25	19+0.000	380.000	132.010	6.00	-6.00
2014/08/25	20+0.000	400.000	133.013	4.47	-4.47
2014/08/25	21+0.000	420.000	134.015	0.21	-2.00
2014/08/25	22+0.000	440.000	135.018	-2.00	-2.00
2014/08/25	23+0.000	460.000	136.020	-2.00	-2.00
2014/08/25	24+0.000	480.000	137.023	-2.00	-2.00
2014/08/25	25+0.000	500.000	138.025	-2.00	-2.00
2014/08/25	26+0.000	520.000	139.028	-2.00	-2.00
2014/08/25	27+0.000	540.000	140.030	-2.00	-2.00

測点生成

一行上へ

一行下へ

一行挿入

一行削除

OK キャンセル ヘルプ

説明

[道路中心線属性]グループ

[設置日]コンボボックス

道路中心線の工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。

もしくは  を押して、カレンダーを表示し日付を選択します。



設置日	2007/11/22
2007年11月	
ID	28 29 30 31 1 2 3
	4 5 6 7 8 9 10
追加距離	11 12 13 14 15 16 17
	18 19 20 21 22 23 24
測点番号	25 26 27 28 29 30 1
	2 3 4 5 6 7 8
区分	<input type="checkbox"/> 今日: 2007/11/22

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[測点属性]グループ

[設置日]列

工事完了日を入力します。yyyy(西暦年)/mm/dd形式か、不明の場合は漢字で「不明」と入力して下さい。

[測点番号]列

測点番号を入力します。

[追加距離]列

追加距離を入力します。

[高さ]列

高さを入力します。(単位m:範囲は-48.000m～2172.000mです。)

[横断勾配(左)]列

横断勾配(左)を入力します。(単位%:範囲は-10.00%～10.00%です。)

[横断勾配(右)]列

横断勾配(右)を入力します。(単位%:範囲は-10.00%～10.00%です。)

[測点生成] ボタン

測点等を自動発生させます。【測点生成:ダイアログ】

[一行上へ]ボタン

選択行を一行上に移動します。

[一行下へ]ボタン

選択行を一行下に移動します。

[一行挿入]ボタン

選択行の位置に一行空白行を挿入します。

[一行削除]ボタン

選択行を一行削除します。

[OK]ボタン

入力されたデータから道路中心線と測点を作図します。

[キャンセル]ボタン

コマンドを終了します。

ヒント

セル間や Excel シート等とのコピー/貼り付けも可能です。

測点生成では、測点を $n+m$ 形式で生成しますので、距離形式の場合は、追加距離や他のシートなどからコピー/貼り付け機能をご利用下さい。

高さ、横断勾配(左)、横断勾配(右)が規定範囲外の値の場合は貼り付けできません。

このダイアログで入力した測点が、選択した道路中心線の外側にはみ出す場合は無視されます。

◆ 測点生成:ダイアログ

測点生成

設置日 2008/12/09 ※ 西暦年 日付 不明

開始測点 0

終了測点 51

測点ピッチ 20.000 m

高さ 0 ※ -48.000 m ~ 2172.000 m

横断勾配(右) -2 ※ -10.00 % ~ 10.00 %

横断勾配(左) -2 ※ -10.00 % ~ 10.00 %

OK キャンセル ヘルプ

説明

[設置日]チェックボックス

チェックが ON の場合、測点属性の設置日列に反映します。(チェックが OFF の場合設置日は空欄になります。)

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは  を押してカレンダーを表示し日付を選択します。(設置日のチェックが ON の場合有効です。)

設置日 2007/11/22

2007年11月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8

今日: 2007/11/22

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[開始測点]エディットボックス

開始測点番号(先頭の測点番号)を入力します。初期値は0です。

[終了測点]エディットボックス

終了測点番号(終端の測点番号)を入力します。初期値は開始を0として、選択した中心線の長さから20mピッチで計算した番号がセットされます。

[測点ピッチ]エディットボックス

測点ピッチを入力します。初期値は20mがセットされます。(追加距離の計算に用います。)

[高さ]チェックボックス

チェックがONの場合、測点属性の高さ列に[高さ]エディットボックスで入力した値をセットします。(チェックがOFFの場合高さは空欄のままになります。)

[高さ]エディットボックス

高さを入力します。(高さのチェックがONの場合有効です。)

[横断勾配(右)]チェックボックス

チェックがONの場合、測点属性の横断勾配(右)列に[横断勾配(右)]エディットボックスで入力した値をセットします。(チェックがOFFの場合横断勾配(右)は空欄のままになります。)

[横断勾配(右)]エディットボックス

横断勾配(右)を入力します。(横断勾配(右)のチェックがONの場合有効です。)

[横断勾配(左)]チェックボックス

チェックがONの場合、測点属性の横断勾配(左)列に[横断勾配(左)]エディットボックスで入力した値をセットします。(チェックがOFFの場合横断勾配(左)は空欄のままになります。)

[横断勾配(左)]エディットボックス

横断勾配(左)を入力します。(横断勾配(左)のチェックがONの場合有効です。)

[OK]ボタン

入力されたデータから測点等を生成し、道路中心線属性設定ダイアログの測点属性に値をセットします。

[キャンセル]ボタン

入力を無効にし、道路中心線属性設定ダイアログに戻ります。

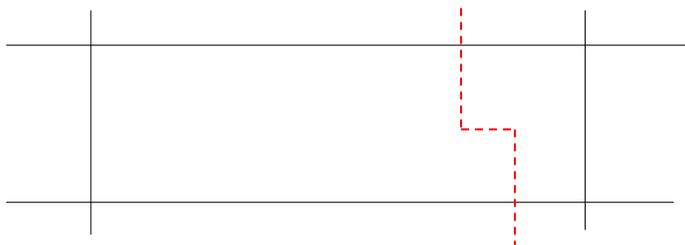
2-6 面領域分割

2-6-1 分割位置指定

『完成図－編集－面領域分割－分割位置指定』

機能

面の属性が付与されている図形を折線で2つに分割します。



操作方法

1. 分割する領域を選択して下さい。【要素選択モード】
2. 分割する折線を指示して下さい。(右ボタンで終了)【座標指示モード】
3. 操作1. に戻ります。

ヒント

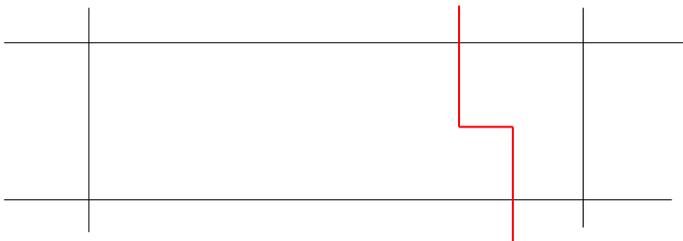
分割されて作成された2つの図形には、両方分割前の属性が付与された状態になっています。

2-6-2 要素

『完成図－編集－面領域分割－要素』

機能

面の属性が付与されている図形を要素選択で2つに分割します。

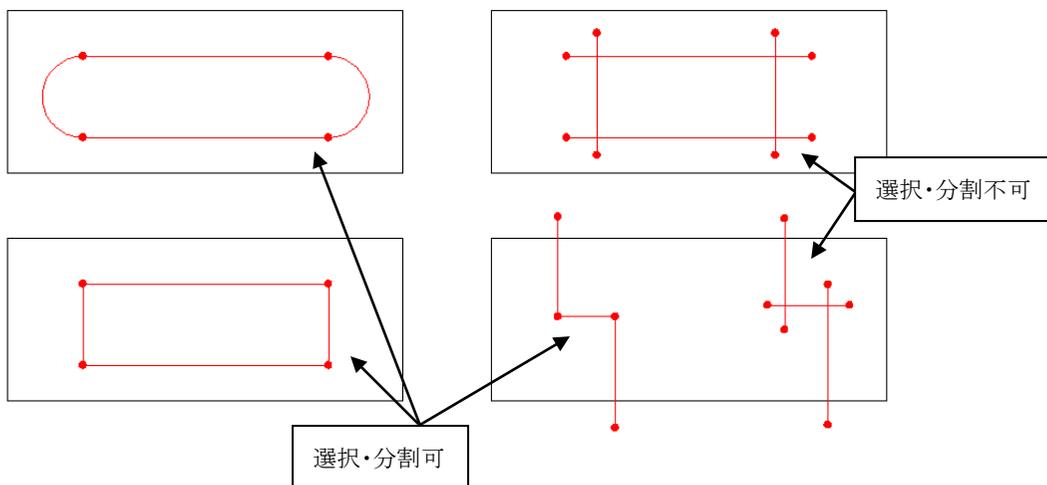


操作方法

1. 分割する領域を選択して下さい。【単要素選択モード】
2. 分割基準とする要素を選択して下さい。(右ボタンで終了)【座標指示モード】
3. 操作1. に戻ります。

ヒント

分割されて作成された2つの図形には、両方分割前の属性が付与された状態になっています。
分割基準として選択できる要素は、線分・円弧・ポリラインのみとなっています。要素は連続していないと選択できません。

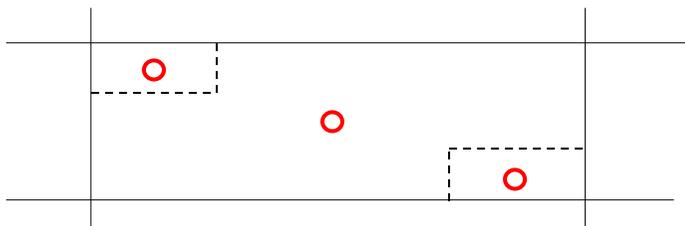


2-7 面領域結合

『完成図－編集－面領域結合』

機能

面の属性が付与されている複数の図形を1つの図形に結合します。



操作方法

1. 結合する面領域を選択して下さい。(右ボタンで終了)【要素選択モード】
2. 属性を入力して下さい。【属性入力:ダイアログ】
3. 操作1. に戻ります。

◆属性入力:ダイアログ

属性入力

図形 車道部

属性:共通

設置日 2007/11/22 日付
※ 西暦年 不明

GIS_ID

OK キャンセル ヘルプ

説明

【図形】コンボボックス

最初に選択された要素の図形名称、設置日が表示されます。
コンボボックスのリストを表示することで他の図形に切り替えることも可能です。

[属性:共通]グループ

[設置日]エディットボックス

工事完了日を入力します。半角数字で西暦年、月、日を入力します。もしくは



を押して

カレンダーを表示し日付を選択します。

設置日	2007/11/22	▼
	< 2007年11月 >	
ID	日 月 火 水 木 金 土	
	28 29 30 31 1 2 3	
	4 5 6 7 8 9 10	
E:距離	11 12 13 14 15 16 17	
	18 19 20 21 22 23 24	
泉番号	25 26 27 28 29 30 1	
	2 3 4 5 6 7 8	
区分	<input type="checkbox"/> 今日: 2007/11/22	▼

[日付]ラジオボタン

日付を入力する場合選択します。

[不明]ラジオボタン

設置日が不明な場合選択します。

[GIS_ID]スタティックテキスト

入力はありません。

[キャンセル]ボタン

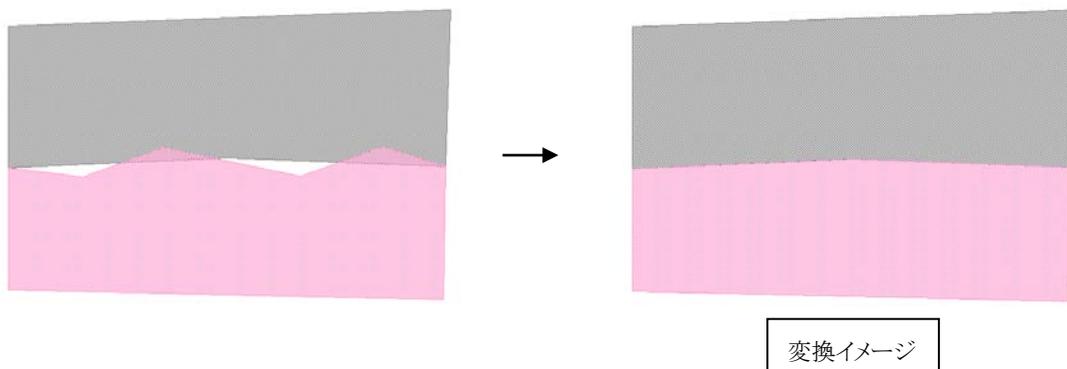
要素選択に戻ります。

2-8 面領域接合

『完成図－編集－面領域接合』

機能

重なりや隙間のある二つの面を、自動的に接合します。
また、離れた二つの面を接合することもできます。



操作方法

1. 接合させる面領域を選択して下さい。【要素選択モード】
(変形させる面を選択します。)
2. 接合先の面領域を選択して下さい。【要素選択モード】
(変形しない基準とする面を選択します。)

選択した面の重なりが 2 箇所以上の場合

3. 接合箇所を指示して下さい。(右ボタンで終了)【座標指示モード】
(接合箇所を指示しないで右ボタンを押すと、すべての対象箇所を接合します。)
4. 実行後操作1. に戻ります。

選択した面の重なりが 1 箇所以上の場合

3. 接合させる面領域の接合位置となる枠線上の点を指示して下さい。【座標指示モード】
4. 接合先の面領域の接合位置となる枠線上の点を指示して下さい。【座標指示モード】
5. 実行後操作1. に戻ります。

選択した面の重なりがない場合

3. 接合させる面領域の接合位置となる枠線上の点を指示して下さい。【座標指示モード】
4. 接合先の面領域の接合位置となる枠線上の点を指示して下さい。【座標指示モード】
5. 接合させる面領域の 2 つ目の接合位置となる枠線上の点を指示して下さい。【座標指示モード】
6. 接合先の面領域の 2 つ目の接合位置となる枠線上の点を指示して下さい。【座標指示モード】
7. 実行後操作1. に戻ります。

ヒント

重なりや隙間が非常に小さい場合、表示倍率により接合箇所が判別しにくくなりますが、拡大して接合箇所を指示するか、接合箇所を指示しないまま右ボタンをクリックして接合処理を実行して下さい。

接合させる面の形状が接合先の面形状を突き抜けるような場合は接合できません。

接合させる面と、接合先の面がすでに接合されている場合は、接合処理を行いません。

選択した面領域の枠要素に重なりや微小な離れが存在する場合、枠要素を自動で修正した面領域に対して面領域接合を行います。

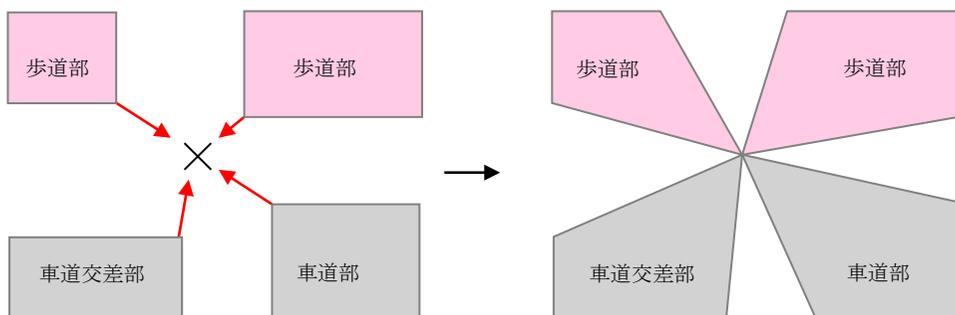
『完成図－ツール－オプション』コマンドの[面領域接合時に面の円弧部分を折線に変換する]チェックボックスが ON の場合、接合先の面領域の枠要素に含まれる円弧を折線に変換して面領域接合を行います。

2-9 面領域構成点移動

『完成図－編集－面領域構成点移動』

機能

指示した面領域の複数の構成点を指示した点に移動します。



操作方法

1. 編集する面領域を選択して下さい。(右ボタンで終了)【複数要素選択モード】
2. 移動する構成点を選択して下さい。(右ボタンで終了)【既存点選択モード】
3. 構成点の移動先を選択して下さい。(右ボタンで終了)【座標指示モード】
4. 実行後操作1. に戻ります。

ヒント

同じ領域の構成点を複数選択した場合や、移動先の点と同じ面領域の点と重なる場合、重なった構成点を削除します。

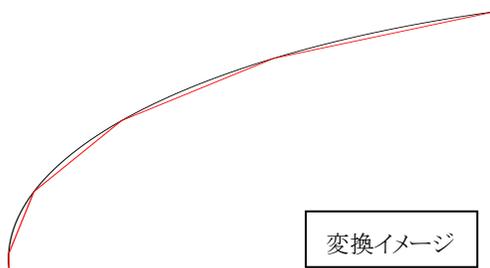
領域の円弧部分の構成点は移動できません。

2-10 折線化

『完成図－編集－折線化』

機能

完成平面図の属性を持つ図形として認められていない、円弧以外の曲線(楕円弧、スプライン等)を、所定精度で折線に変換します。(円弧の折線化も可能です。)



操作方法

1. 折線化する要素を選択して下さい。(右ボタンで終了)【要素選択モード】
2. 実行後操作1. に戻ります。

ヒント

変換前の要素はそのまま残ります。

変換後の要素は、本コマンド実行時点のレイヤ・線種・線幅・色等の設定に依存します。

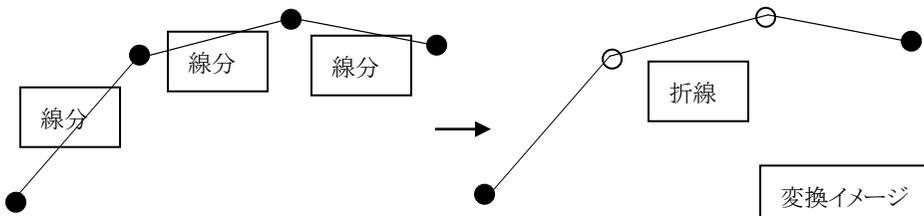
『完成図－ツール－オプション』コマンドで折線化のモード設定を行うことができます。

2-11 折線結合

『完成図－編集－折線結合』

機能

連続した線を表している複数の線分や折線を、1本の折線に結合します。



操作方法

1. 1要素目を指示して下さい。【要素選択モード】
2. 結合する要素を選んで下さい。(右ボタンで終了)【要素選択モード】
3. 実行後操作1. に戻ります。

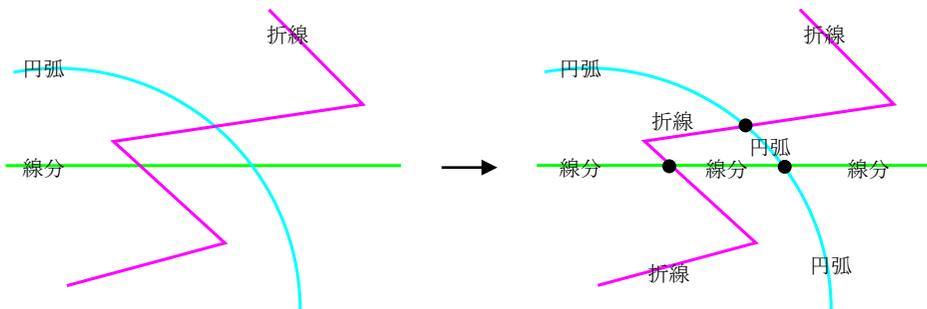
2-12 相互切断

『完成図－編集－相互切断』

機能

選択した要素(線分・折線・円弧)同士の交差箇所に、頂点(端点)を生成し、切断します。

表示イメージ

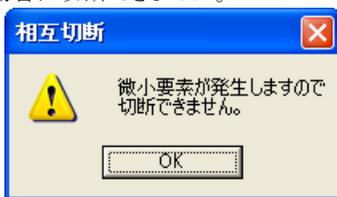


操作方法

1. 切断する要素を選択して下さい。(右ボタンで終了)【単要素選択モード】
2. 実行後操作1. に戻ります。

ヒント

切断後の直線・円弧の要素長が 0.001mm 未満、ポリラインの 1 セグメントが 0.03mm 未満の要素になる場合は切断できません。



3 ツール

3-1 整合チェック

『完成図－ツール－整合チェック』

機能

自己交差や属性と要素の整合性などをチェックします。

本コマンドでは、「道路基盤地図情報交換属性セット(案) 第 1.1 版」に準じた項目のチェックを行います。また、部分図、座標系についてもチェックします。

区分は「エラー」、「確認」、「警告」の 3 種類があります。「エラー」、「確認」、「警告」の項目が存在しても SXF (Ver.3.x) 形式での保存は可能です。

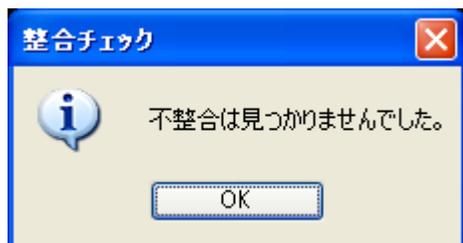
道路面地物が重なっていても立体交差等の場合は正しいとされるケースに該当します。図形自体に誤りがある場合は正しく修正して下さい。

納品段階では SXF ファイルに保存した後、「道路工事完成図等チェックプログラム」(国土交通省国土技術政策総合研究所)でチェックし、合格する必要があります。(計算方法が異なるため、結果が異なる可能性があります。道路工事完成図等チェックプログラムを正としてご利用下さい。)

操作方法

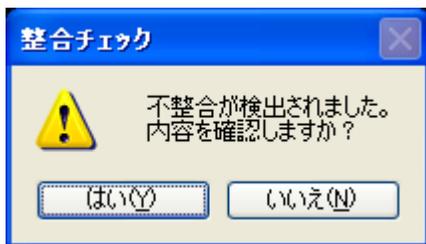
1. メニューを実行します。

<不整合が検出されなかった場合>



確認のダイアログが表示されます。「OK」ボタンを押し終了して下さい。

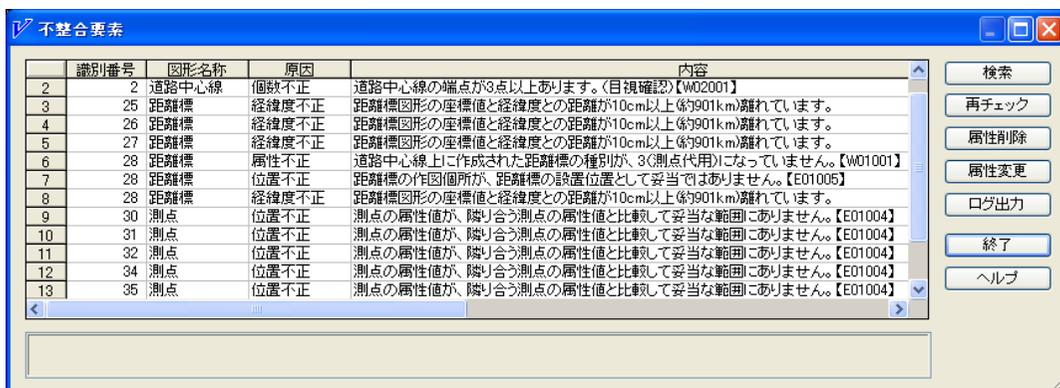
<不整合が検出された場合>



不整合が含まれる図形をハイライト表示し、確認のダイアログが表示されます。

「はい」ボタンを押すと個別の確認を行うことができます。【不整合要素:ダイアログ】

◆不整合要素:ダイアログ



説明

[不整合要素]スプレッドシート

不整合が含まれる図形の一覧を表示します。

複数行選択することができます。

[不整合内容]スタティックテキスト

複数の部分図に作図されている場合や、数学座標系で作図されている場合に不整合として表示します。

(例) 数学座標系で作図されている場合

数学座標系の部分図に完成図の要素が存在します。

[検索]ボタン

スプレッドシートで選択されている不整合要素を中心に拡大表示します。

自己交差等が検出された位置には水色の円マークを表示します。

[再チェック]ボタン

整合チェックを再度実行します。

[属性削除]ボタン

スプレッドシートで選択されている不整合要素の属性を削除します。

※スプレッドシートで複数行を選択した場合、選択した要素の道路地物属性を削除します。

属性を削除した要素のレイヤは、「属性なし_」+「(元のレイヤ名)」レイヤに変更されます。

(例) 車道部の属性を削除した場合

属性を削除する前の要素のレイヤ名:「C-STR-STRZ-ROADWAY」

属性を削除した後の要素のレイヤ名:「属性なし_C-STR-STRZ-ROADWAY」

[属性変更]ボタン

スプレッドシートで選択されている不整合要素の属性を変更します。

属性変更は、『完成図－編集－属性変更』コマンドと同様のダイアログで変更できます。

※スプレッドシートで複数行を選択した場合、属性を変更することはできません。

[ログ出力]ボタン

不整合の表示内容をcsvファイルとして出力します。

[終了]ボタン

コマンドを終了します。

ヒント

同ヒント内の「チェック項目一覧表」の参考コードは、「道路工事完成図等チェックプログラム」で該当するエラー番号になります。エラー修正において参考にご利用下さい。

『完成図－ツール－オプション』コマンドの「セカンドチェック」チェックボックス、「サードチェック」チェックボックスをONにすることで、「追加チェックプログラム(完成平面図品質評価ツール)」(国土交通省国土技術政策総合研究所)に準じた項目のチェックも行えます。

同ヒント内の「セカンドチェック項目一覧表」と「サードチェック項目一覧表」の参考コードは、「道路工事完成図等チェックプログラム」で該当するエラー番号と旧番号(「追加チェックプログラム(完成平面図品質評価ツール)」で該当するエラー番号)になります。エラー修正において参考にご利用下さい。

『完成図－ツール－オプション』コマンドの[整合チェック時に路線番号の文字(数値以外)を許可する]チェックボックスをONにすることで、高速道路等の路線番号のように数値以外の文字を使用した路線番号でも、整合チェックでエラーとして判定されなくなります。

チェック項目一覧表

原因	内容	区分	参考コード
点形状不正	点データの表示設定が四角形に設定されていません。	確認	W31002
点重複 線重複	同一レイヤ内の点データが重なっています。 同一レイヤ内の線データが重なっています。	エラー 確認	E31003 W32007
要素微小	長さが非常に短い線データ(線分)があります。 長さが非常に短い線データ(円弧)があります。	エラー エラー	E32002 E32006
自己交差	自己交差した線データ(折線)があります。 隣接する頂点間の長さが非常に短い線データ(頂点重複)があります。	エラー エラー	E32005 E32004
閉図形不正	円弧の始終点が一致しています。 面データの外周形状または中抜き形状が閉じていません。	エラー エラー	- E33006
自己交差	自己交差した面データがあります。 面データの外周形状に長さが非常に短い折線(頂点重複)があります。 面データの外周形状に長さが非常に短い円弧があります。	エラー エラー エラー	E33007 E33004 E33005
自己交差	自己交差した面(中抜き形状)データがあります。 面データの中抜き形状に長さが非常に短い折線(頂点重複)があります。 面データの中抜き形状に長さが非常に短い円弧があります。	エラー エラー エラー	E33007 E33004 E33005
中抜き不正	面データの外周形状の外側に中抜き形状があります。 面データの外周形状と中抜き形状が交差しています。 面データの中抜き形状同士が交差しています。 面データの中抜き形状の一方が他方を含んでいます。	エラー エラー エラー エラー	- E33008 E33009 E33009
要素不整合	距離標データが点マーカ以外で作成されています。 線データが線分・折線・円弧以外で作図されています。 面データが既定義ハッチング(模様無し)以外で作図されています。 面データが線分・折線・円弧以外で作図されています。 斜面对策エデータが点・線分・折線・円弧・既定義ハッチング(模様無し)で作図されています。	エラー エラー エラー エラー エラー	E31001 E32001 E33001 E33002 E34001
要素不整合	面データの中抜き形状が線分・折線・円弧以外で作図されています。	エラー	E33002
	完成図の要素が複数の部分図に存在します	エラー	E25002
	数学座標系の部分図に完成図の要素が存在します	確認	W25004
図形名称不正	地名名称が存在しません。 定義されていない地名名称を持つデータがあります。	エラー エラー	E26005
属性不正	共通属性グループが無いか、名称が不正です。 共通属性グループに設置日が無いか、名称が不正です。 設置日の属性単位が不正です。 設置日の属性タイプが不正です。 距離標または測点の属性項目「設置日」に存在しない無効な日付があります。 距離標属性グループが無いか、名称が不正です。 距離標属性グループの高さ属性がないか値・タイプ・単位に不正があります。 距離標属性グループの緯度属性がないか値・タイプ・単位に不正があります。 距離標属性グループの経度属性がないか値・タイプ・単位に不正があります。 距離標属性グループの種別属性がないか値・タイプ・単位に不正があります。 距離標属性グループの距離程属性がないか値・タイプ・単位に不正があります。 距離標属性グループの接頭文字属性がないか値・タイプ・単位に不正があります。 距離標属性グループの上下区分高さ属性がないか値・タイプ・単位に不正があります。 距離標属性グループの現旧区分高さ属性がないか値・タイプ・単位に不正があります。 距離標属性グループの路線番号属性がないか値・タイプ・単位に不正があります。	エラー	E40001 E40001 E40001 E40001 E40002 E40001 E40001 E40001 E40001 E40001 E40001 E40001 E40001 E40001 E40001 E40001 E40001
経緯度不正	距離標図形の座標値と経緯度との距離が10cm以上離れています。	エラー	E50002
レイヤ不正	図形データが正しいレイヤに分類されていません。	エラー	E26003
道路面重複	道路面地物の面データ同士が重なっています。	確認	W35004
道路面離れ	道路面地物の面データ同士が離れています。	確認	W35005
植栽不正	植栽の面データが歩道部の内側に含まれていません。	確認	W35001
植栽不正	歩道部の面データが植栽により分断されます。	確認	W35003
植栽不正	歩道部の面データが植栽の内側に完全に含まれます。	確認	W35002
面重複	同一レイヤ内の面データが重なっています。	確認	W33011
測点不正	測点が道路中心線上に作図されていません。	エラー	E60001
グループ図形	対象図形がグループ化されています。(完成図地物データのグループ化は認められていません。)	エラー	E24001

セカンドチェック項目一覧表

原因	内容	区分	参考コード	
			番号	旧番号
要素不正	点データを格納するレイヤに、点データ以外の図形があります。	エラー	E231001	E00001
要素不正	線データを格納するレイヤに、線分、折線、円弧以外の図形があります。	エラー	E232001	E00002
要素不正	面データを格納するレイヤに、既定義ハッチング以外の図形があります。	エラー	E233001	E00003
要素不正	斜面对策工レイヤに、点(点マーカ)、線(線分/折線/円弧)、面(既定義ハッチング)以外の図形があります。	エラー	E234001	E00004
属性不正	距離標、測点の属性の高さに0.000が入力されています。	確認	W240001	E00010

サードチェック項目一覧表

原因	内容	区分	参考コード	
			番号	旧番号
属性不正	道路中心線上に作成された距離標の種別が、3(測点代用)になっていません。	確認	W370001	W01001
属性不正	距離程の値と種別の関連性がおかしい距離標があります。 距離程の値が1.0や2.0のように少数点以下の端数がない場合、種別が1kpを示す「2」でなければエラーとなります。 距離程の値が1.1とか2.2のように少数点以下の端数がある場合、種別には0.1kpを示す「1」でなければエラーとなります。	確認	W370002	E01002
属性不正	接頭文字と現旧区分の関連性がおかしい距離標があります。 下記のチェックを満たさない場合、エラーとなります。 ① 種別が測点を示す「3」の場合、接頭文字の値は測点代用を示す「1」となります。 ② ①以外で現旧区分の値が新道を示す「3」の場合、接頭文字の値はBPを示す「3」となります。 ③ ①以外で現旧区分の値が旧道を示す「2」の場合、接頭文字の値は接頭文字なしを示す「1」又はBを示す「2」となります。 ④ ①以外で現旧区分の値が現道を示す「1」の場合、接頭文字の値は接頭文字なしを示す「1」又はBを示す「2」となります。	エラー	E370003	E01003
位置不正	測点の属性値が、隣り合う測点の属性値と比較して妥当な範囲にありません。 「高さ」の隣り合う測点間の高低差が2.4mより上である場合、エラーとなります。 「横断勾配」の隣り合う測点間の差が±6.66%より上である場合、エラーとなります。 「追加距離」の隣り合う測点間の差が±20.000mでない場合、エラーとなります。 ※測点の間隔が20mでない場合は、監督職員と測点間隔について協議しているか確認してください。	確認	W350001	E01004
位置不正	距離標の作図個所が、距離標の設置位置として妥当ではありません。 道路中心線上ではない道路面地物上の距離標で、歩道部または島上でない距離標はエラーとなります。	確認	W370004	E01005
位置不正	地下横断歩道の地下に該当する部分が作成されていません。 車道部もしくは車道交差部と重なりがない地下横断歩道があると警告となります。	確認	W380001	W01006
位置不正	横断歩道橋、地下横断歩道が、道路面地物と重なっていません。	エラー	E380002	E01007
位置不正	区画線を停止線として作図されています。 停止線を両側3m延ばして、歩道部、管理区域界、島、法面、擁壁にあたらない場合、エラーとなります。	確認	W380003	E01008
位置不正	区画線と停止線を間違えて作図しています。 区画線を50cm延伸し、区画線と80～100度で交差する場合、エラーとなります。	確認	W380004	E01009
位置不正	橋梁が道路面地物と重なっていないため、レイヤを間違えています。	エラー	E380005	E01010
位置不正	擁壁が道路面地物と重なっているため、レイヤを間違えています。	確認	W380006	E01011

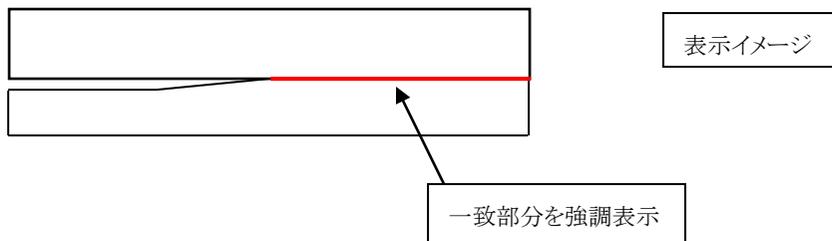
位置不正	道路支持地物間(橋梁、トンネル、ボックスカルバート、シェッド、シェルター、横断歩道橋、地下横断歩道)に「重なり」、「内包」があります。	確認	W380007	E01012
位置不正	道路関連地物間(切土法面、盛土法面、擁壁)に「重なり」、「内包」があります。	確認	W380008	E01013
位置不正	道路支持地物(橋梁、トンネル、ボックスカルバート、シェッド、シェルター、横断歩道橋、地下横断歩道)が道路面地物に、「重なり」または「内包」されていません。	確認	W380009	E01014
位置不正	区画線、停止線が、車道部、車道交差部と「重なり」または「内包」されていません。	エラー	E380010	E01015
位置不正	横断歩道が、車道部または車道交差部と「重なり」または「内包」されていません。	エラー	E380011	E01016
個数不正	道路中心線の端点が3点以上あります。	確認	W391001	W02001
形状不正	道路中心線の作成範囲が正しくないものがあります。 道路中心線の端点が2点の場合、道路面地物の最外周線上に端点がないと警告となります。	確認	W391002	W02002
形状不正	短い区画線が存在するため、区画線の作図方法が正しくない可能性があります。 5m以下の区画線があります。	確認	W391003	W02003
形状不正	島が、車道部または車道交差部に接していません。	確認	W392001	W02004
形状不正	踏切道が、車道部または車道交差部に接していません。	確認	W392002	W02005
形状不正	車道交差部が、車道部に接していません。	確認	W392003	W02006
形状不正	路面電車停留所が、軌道敷と接していません。	確認	W392004	W02007
形状不正	軌道敷が、車道部または車道交差部と接していません。	確認	W392005	W02008
形状不正	停止線が長すぎます(作図去られている内容が停止線であり、実際に長い場合は、問題ありません。) 15m以上の停止線があると警告となります。	確認	W393001	W02009
形状不正	区画線が短すぎます(作図去られている内容が区画線であり、実際に長い場合は、問題ありません。) 15m以下の区画線があると警告となります。	確認	W393002	W02010

3-2 境界線重複チェック

『完成図—ツール—境界線重複チェック』

機能

面図形の境界線が一致している部分を強調表示します。
道路面は境界線が一致する必要がありますが、一致している、していないの確認が容易にできます。



操作方法

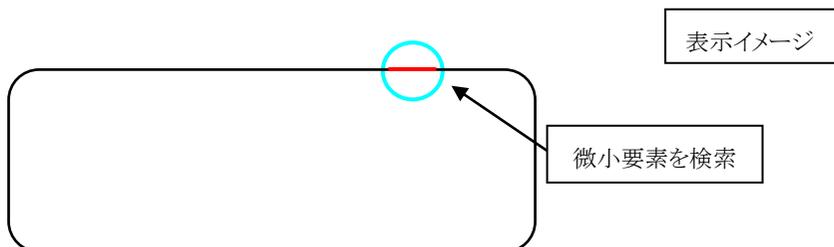
1. メニューを実行します。
2. 一致部分が強調表示されます。Esc キーを押すか、別のメニューを選択するまで続けます。

3-3 微小要素検出

『完成図—ツール—微小要素検出』

機能

選択した連続要素(直線、円弧、ポリライン)において微小要素を検出し、削除することができます。



操作方法

1. 要素を選択して下さい。(右ボタンで終了)【単要素選択モード】
2. 微小要素を確認して下さい。【微小要素検出:ダイアログ】

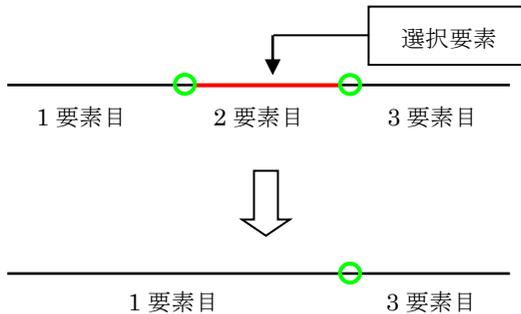
◆微小要素検出:ダイアログ



説明

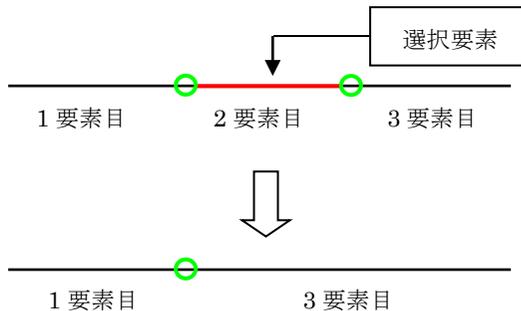
[前要素終点を移動して要素削除]ボタン

選択行の要素を削除し、選択行の前の要素の終点座標を選択行の次の要素の始点座標に点移動(変形)します。



[次要素始点を移動して要素削除]ボタン

選択行の要素を削除し、選択行の次の要素の始点座標を選択行の前の要素の終点座標に点移動(変形)します。



[上の微小要素を検索]ボタン

選択行の上側にある微小要素を検索し、検索された行の微小要素を拡大し、画面中央にハイライト表示します。

[下の微小要素を検索]ボタン

選択行の下側にある微小要素を検索し、検索された行の微小要素を拡大し、画面中央にハイライト表示します。

[検索]ボタン

選択された行の微小要素を拡大し、画面中央にハイライト表示します。

[OK]ボタン

本コマンドを終了します。

3-4 ハイライト表示

『完成図ーツールーハイライト表示』

機能

属性が付与されている図形を強調表示します。

操作方法

1. メニューを実行します。
2. 属性付与されている図形が強調表示されます。もう一度このメニューを選択するまで継続します。

3-5 図形検索

『完成図—ツール—図形検索』

機能

属性が付与されている図形を一覧から指定し、図上で該当要素をハイライト表示します。
特定の図形識別番号の図形が図上のどこにあるか検索する場合などに便利です。
また、属性の変更が可能です。(スプレッドシート内の水色で表示されている項目:識別番号、GTS ID、座標系名、スケール(X)、スケール(Y)、軸タイプ、面積(mm²)は変更不可。)

操作方法

1. メニューを実行します。
2. 一覧が表示されます。検索する図形を選択して下さい。【図形検索:ダイアログ】
3. 「OK」ボタンを押すと変更内容が反映され、検索図形がある場合は図形範囲が画面中心に拡大されてハイライト表示されます。
4. ハイライト表示時に Esc キーを押すと、コマンドが終了します。

◆図形検索:ダイアログ



説明

[図形一覧]スプレッドシート

属性が付与されている図形を一覧で表示します。

属性の編集も可能です。

図形により編集できる項目が異なります。

・点(距離標)の場合

編集できる項目は、「設置日」、「路線番号」、「現旧区分」、「上下区分」、「接頭文字」、「距離程(km)」,

「種別」、「経度」、「緯度」、「高さ(m)」、「部分図名」となります。

・点(測点)の場合

編集できる項目は、「設置日」、「高さ(m)」、「測点番号」、「追加距離」、「横断勾配(左)」、「横断勾配(右)」、「部分図名」となります。

・点(斜面对策工(点))の場合

編集できる項目は、「設置日」、「部分図名」となります。

・線の場合

編集できる項目は、「図形名称」、「設置日」、「部分図名」となります。

ただし、クロソイド要素の場合は「図形名称」項目に「道路中心線」しか設定できません。

・面の場合

編集できる項目は、「図形名称」、「設置日」、「部分図名」となります。

※「設置日」が空白の場合は不明となります。不明を設定する場合は、セル内の年月日を全て選択した状態で Delete キーを押して空白にしてください。

※「部分図」には【編集一部分図テーブル】で設定された部分図が表示されます。ただし、縦横異縮尺部分図は選択できません。

[検索]ボタン

選択された行の属性を持つ図形要素を、画面中央にハイライト表示します。

[一覧表出力]ボタン

表示内容を csv ファイルに出力します。

[一行削除]ボタン

カーソル位置の行を削除します。複数行の指定も可能です。

該当図形要素の属性が削除されます。図形要素自体は削除されません。

属性を削除した要素のレイヤは、「属性なし_」+「(元のレイヤ名)」レイヤに変更されます。

(例) 車道部の属性を削除した場合

属性を削除する前の要素のレイヤ名:「C-STR-STRZ-ROADWAY」

属性を削除した後の要素のレイヤ名:「属性なし_C-STR-STRZ-ROADWAY」

[設定]ボタン

列項目の表示順、表示/非表示の設定を行います。【設定:ダイアログ】

[OK]ボタン

変更内容を反映してコマンドを終了します。

『完成図－ツール－オプション』コマンド【道路工事完成図設定:ダイアログ】内[図形検索時に図形識別番号の整合を取る]チェックボックスが ON の場合、図形識別番号を再設定します。

[キャンセル]ボタン

変更を反映せずにコマンドを終了します。

[緯度・経度]グループ

[緯度経度の値に従い配置する]チェックボックス

チェックを ON にすると、入力されている緯度経度と系番号の値に従い座標変換を行い、現在の図面上の座標位置に距離標を配置します。変換結果により要素が移動する場合があります。チェックが OFF の場合は要素の配置位置は変化しません。

座標変換は、現在のスケールと座標系を元に行いますので、あらかじめスケールと座標系の設定を行ってください。

[参照点変更]ボタン

要領では、距離標を測点で代用する場合は、経度・緯度は設計時に用いた座標値を変換して入力とされています。

この座標値を図面上から直接取得することが可能です。

「参照点変換」ボタンを押すと「変換の基準点を指示して下さい。」と表示されますので、図形を配置する位置を指示して下さい。

指示した位置の座標値を経度・緯度に変換して設定されます。

[系番号]コンボボックス

図面上の座標から経緯度に変換する場合は工事場所に応じて系番号を設定して下さい。

系番号	該当地域
1	長崎県 鹿児島県(一部離島)
2	福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県(一部離島を除く)
3	山口県 島根県 広島県
4	香川県 愛媛県 徳島県 高知県
5	兵庫県 鳥取県 岡山県
6	京都府 大阪府 福井県 滋賀県 三重県 奈良県 和歌山県
7	石川県 富山県 岐阜県 愛知県
8	新潟県 長野県 山梨県 静岡県
9	東京都(一部離島を除く) 福島県 栃木県 茨城県 埼玉県 千葉県 群馬県 神奈川県
10	青森県 秋田県 山形県 岩手県 宮城県
11	北海道の以下の地域 小樽市 函館市 北斗市 伊達市 檜山支庁 後志支庁 渡島支庁 有珠郡 虻田郡

系番号	該当地域
12	北海道の以下の地域 札幌市 旭川市 稚内市 留萌市 美瑛市 夕張市 岩見沢市 苫小牧市 室蘭市 士別市 名寄市 芦別市 赤平市 三笠市 滝川市 砂川市 江別市 千歳市 歌志内市 深川市 紋別市 恵庭市 北広島市 石狩市 石狩支庁 上川支庁 宗谷支庁 日高支庁 空知支庁 留萌支庁 紋別郡 胆振支庁(有珠郡、虻田郡を除く)
13	北海道の以下の地域 北見市 帯広市 釧路市 網走市 根室市 根室支庁 釧路支庁 十勝支庁 網走支庁(紋別郡を除く)
14	東京都小笠原村 (北緯 28° 以南、東経 140° 30′ 以東 143° 以西)
15	沖縄県の以下の地域 那覇市 うるま市 宜野湾市 浦添市 名護市 糸満市 沖縄市 南城市 国頭村 大宜味村 東村 今帰仁村 本部町 恩納村 宜野座村 金武村 伊江村 読谷村 嘉手納町 北谷村 北中城村 中城村 西原町 豊見城村 八重瀬町 与那原町 南風原町 仲里村 具志川村 渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村 伊平屋村 伊是名村
16	沖縄県の以下の地域 宮古島市 石垣市 多良間町 竹富町 与那国町
17	沖縄県南大東村 北大東村
18	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 140° 30′ 以西 (沖ノ島))
19	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 143° 以東 (南鳥島))

離島部等詳細は国土地理院サイトなどをご参照下さい。

ヒント

1 行目に表示される項目名を選択することにより、指定された項目の順番で「昇順」「降順」に並び替えを行います。

また、セル上でマウス右ボタンメニューが有効です。

◆設定:ダイアログ



説明

[表示 ON・OFF]チェックボックス

ON の場合、その項目を表示します。

OFF の場合、その項目は表示しません。

※項目「識別番号」、「図形名称」の設定は ON で固定となります。

[一行上へ]ボタン

選択行を一行上へ移動します。

[一行下へ]ボタン

選択行を一行下へ移動します。

[全 ON]ボタン

全ての項目の[表示 ON・OFF]チェックボックスを ON にします。

[全 OFF]ボタン

全ての項目の[表示 ON・OFF]チェックボックスを OFF にします。

※項目「識別番号」、「図形名称」の設定は ON で固定となります。

[初期化]ボタン

ダイアログで設定した内容を初期状態に戻します。

3-6 面領域着色表示

『完成図—ツール—面領域着色表示』

機能

完成平面図における面図形は、V-nas においてはハッチングタイプ「既定義ハッチング:模様なし」を使用することになっていますが、模様がないため通常は境界線しか表示されません。このコマンドを使用することにより、「既定義ハッチング:模様なし」で作図された領域を定義されている色で着色表示します。

操作方法

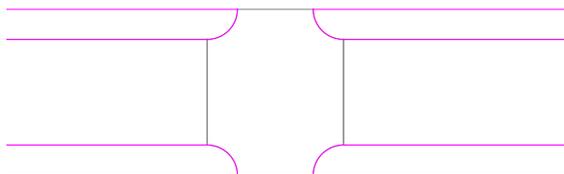
メニューを選択します。

一度メニューを選択するとメニューの先頭にチェックマークが表示され、面領域着色モードになります。

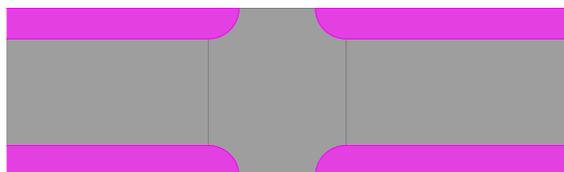
もう一度メニューを選択するとチェックマークがはずれ、モードが解除されます。

表示イメージ

<面領域着色モード解除>



<面領域着色モード>



3-7 図形名称表示

『完成図－ツール－図形名称表示』

機能

属性が付与された図形の状況確認、チェックプログラムでエラーが検出された図形の確認などのため、図形名称と図形識別番号を表示します。

操作方法

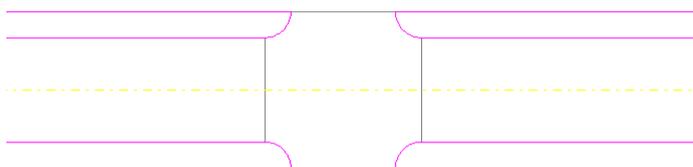
メニューを選択します。

一度メニューを選択するとメニューの先頭にチェックマークが表示され、図形名称表示モードになります。

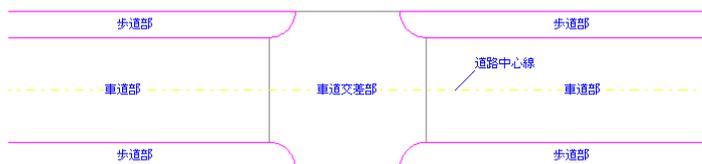
もう一度メニューを選択するとチェックマークがはずれ、モードが解除されます。

表示イメージ

<図形名称表示モード解除>



<図形名称表示モード>



ヒント

SXFファイルから読み込まれた図形には図形識別番号が設定されておりますので、図形名称_図形識別番号の形式で表示されます。

新規に作成した図形、bfo形式ファイルから読み込まれた図形には図形識別番号が設定されていないので、図形名称のみ表示されます。

『完成図－ツール－オプション』で[整合チェック時に図形識別番号の整合をとる]チェックボックスの値がONの場合、整合チェックを行うと、地物図形に図形識別番号が設定されます。図形名称の表示色は『完成図－ツール－オプション』コマンドで設定できます。

3-8 インポート

『完成図ーツールーインポート』

機能

編集集中の図面に対して、別図面上に存在する編集集中の図面と同じ現在の座標系、スケールが用いられている部分図上のデータを取り込み合成します。

選択可能なファイルは V-nas ファイル(拡張子.bfo)、SXF ファイル(拡張子.p21、.sfc)です。

操作方法

1. ファイルを選択して下さい。【開く:ダイアログ】

2. 読み込み可否の判断を行います。

<現在の図面と同じ座標系、スケールが用いられている部分図が一つの場合>

現在の図面と同じ座標系、スケールが用いられている部分図上の要素を追加します。

<現在の図面と同じ座標系、スケールが用いられている部分図が複数存在する場合>

選択した部分図上の要素を追加します。【部分図選択:ダイアログ】



<現在の図面と同じ座標系、スケールが用いられている部分図が存在しない場合>

メッセージが表示され、ファイル選択に戻ります。【開く:ダイアログ】



◆開く:ダイアログ



説明

[ファイル名]エディットボックス

読み込みを行うファイル名を選択、または入力します。

[ファイルの種類]コンボボックス

[ファイル名]エディットボックスに表示するファイル形式を選択します。

選択できるファイル形式は、V-nas ファイル(拡張子.bfo)、SXF ファイル(拡張子.p21、.sfc)のみです。

◆部分図選択:ダイアログ



説明

[部分図選択]コンボボックス

図面合成時に取り込む部分図を選択します。

[OK]ボタン

選択した部分図上の要素を追加します。

【キャンセル】ボタン

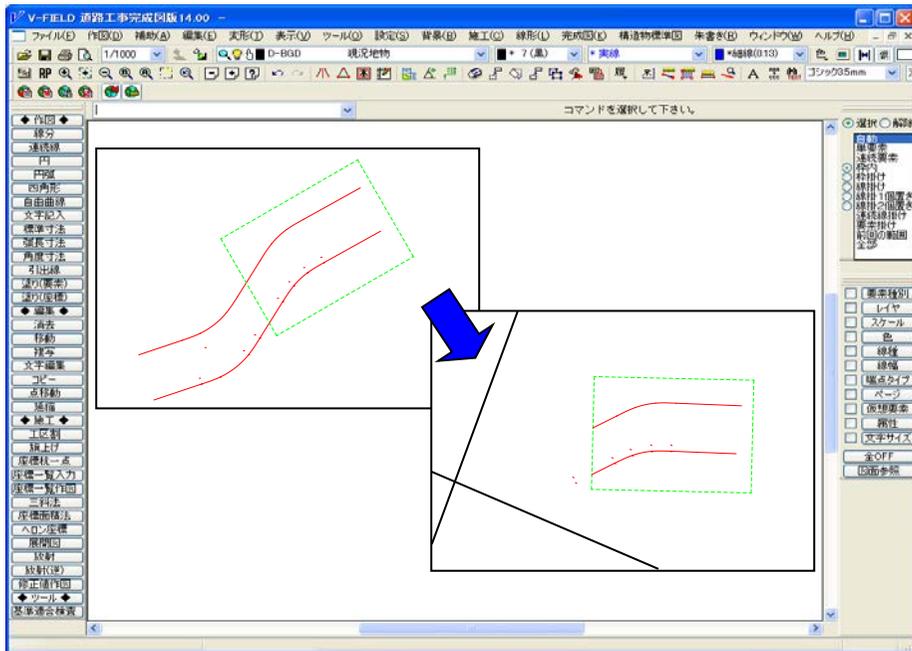
コマンドを終了します。

3-9 範囲分割

『完成図—ツール—範囲分割』

機能

別ウィンドウに指定範囲内の図形を分割移動します。移動先の図面には座標系も貼り付けられます。



操作方法

1. 左下座標を指示して下さい。【座標指示モード】（1点目）
2. 右下座標を指示して下さい。【座標指示モード】（2点目）
3. 上底通過点を指示して下さい。【座標指示モード】（3点目）
4. 配置基準点を指示して下さい。【座標指示モード】
5. 配置位置を指示して下さい。【座標指示モード】
6. 終了の場合1.に戻ります。追加の場合、2.以降の操作で分割範囲を指示し、5.までの操作を繰り返します。

ヒント

移動元、移動先の地物図形に付与された属性はそのまま保持されますが、GIS_ID の内容は移動先、移動元共に削除されます。

ラスタデータが配置されている場合は、ラスタデータも一緒に分割移動します。

この時、切り取り前のラスタデータはそのまま残し、切り取られたラスタファイル名をオリジナル+0、切り取った(移動した側)のラスタファイル名をオリジナル+1として貼り付けなおします。

3-10 オプション

『完成図－ツール－オプション』

機能

完成図コマンドで作図、編集する場合の各図形のレイヤ等の設定、距離標の経緯度を変換計算する場合の座標系番号の設定を行います。

操作方法

1. 道路完成図の設定をして下さい。【道路完成図設定:ダイアログ】

◆道路完成図設定:ダイアログ

道路完成図設定

作図設定

距離標
斜面対策工(点)
道路中心線
管理区域界
区画線
停止線
斜面対策工(線)
植栽
橋梁
トンネル
盛土法面
切土法面
擁壁
横断歩道
横断歩道橋

レイヤ(L) C-BMK-BMKZ-KMPOST

色(C) 3 (緑)

線種(T) 実線

線幅(W) 0.13

設定初期化(F)

設定読込(R)

設定保存(S)

経緯度変換の基準とする系

第 1 系

境界線

線幅(B) 0.50

ハイライト表示色

色(D) 31

図形名称表示色

色(M) 2 (黄)

OK

折線化

粗く分解 細かく分解

追加チェックプログラム

セカンドチェック
 サードチェック

キャンセル

ヘルプ

- 整合チェック時に経緯度変換の基準とする系番号を確認する。
- 部分図名を系番号として扱う。
- 整合チェック時に部分図名称を確認する。
- 整合チェック時に路線番号の文字(数値以外)を許可する。
- 整合チェック時に図形識別番号の整合を取る。
- 整合チェック時に面データの枠の色の整合を取る。
- 図形検索時に図形識別番号の整合を取る。
- 属性が旧バージョンのデータを読み込んだ場合、データ変換確認のダイアログを表示しない。
- 距離標を緯度経度情報に従って配置する。
- 面領域接合時に面の円弧部分を折線に変換する。

説明

[作図設定]グループ

選択された図形名称のレイヤ、色、線種、線幅等を設定します。

道路工事完成図等作成要領に準じた初期設定になっていますので、線幅以外は通常変更しないで下さい。

[経緯度変換の基準とする系]グループ

[系番号]エディットボックス

図面上の座標から経緯度に変換する場合は工事場所に応じて系番号を設定して下さい。

系番号	該当地域
1	長崎県 鹿児島県(一部離島)
2	福岡県 佐賀県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県(一部離島を除く)
3	山口県 島根県 広島県
4	香川県 愛媛県 徳島県 高知県
5	兵庫県 鳥取県 岡山県
6	京都府 大阪府 福井県 滋賀県 三重県 奈良県 和歌山県
7	石川県 富山県 岐阜県 愛知県
8	新潟県 長野県 山梨県 静岡県
9	東京都(一部離島を除く) 福島県 栃木県 茨城県 埼玉県 千葉県 群馬県 神奈川県
10	青森県 秋田県 山形県 岩手県 宮城県
11	北海道の以下の地域 小樽市 函館市 北斗市 伊達市 檜山支庁 後志支庁 渡島支庁 有珠郡 虻田郡
12	北海道の以下の地域 札幌市 旭川市 稚内市 留萌市 美唄市 夕張市 岩見沢市 苫小牧市 室蘭市 士別市 名寄市 芦別市 赤平市 三笠市 滝川市 砂川市 江別市 千歳市 歌志内市 深川市 紋別市 恵庭市 北広島市 石狩市 石狩支庁 上川支庁 宗谷支庁 日高支庁 空知支庁 留萌支庁 紋別郡 胆振支庁(有珠郡、虻田郡を除く)
13	北海道の以下の地域 北見市 帯広市 釧路市 網走市 根室市 根室支庁 釧路支庁 十勝支庁 網走支庁(紋別郡を除く)
14	東京都小笠原村 (北緯 28° 以南、東経 140° 30' 以東 143° 以西)
15	沖縄県の以下の地域 那覇市 うるま市 宜野湾市 浦添市 名護市 糸満市 沖縄市 南城市 国頭村 大宜味村 東村 今帰仁村 本部町 恩納村 宜野座村 金武村 伊江村 読谷村 嘉手納町 北谷村 北中城村 中城村 西原町 豊見城村 八重瀬町 与那原町 南風原町 仲里村 具志川村 渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村 伊平屋村 伊是名村

16	沖縄県の以下の地域 宮古島市 石垣市 多良間町 竹富町 与那国町
17	沖縄県南大東村 北大東村
18	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 140° 30′ 以西 (沖ノ島))
19	東京都小笠原村(北緯 28° 以南、東経 143° 以東 (南島))

離島部等詳細は国土地理院サイトなどをご参照下さい。

[境界線]グループ

境界線重複チェックで強調表示する場合の線の太さを選択します。

[ハイライト表示色]グループ

ハイライト表示色を選択します。

[図形名称表示色]グループ

図形名称を表示する場合の文字色を選択します。

[折線化]グループ

[粗く分解]ラジオボタン

『完成図－編集－折線化』コマンド実行時に、楕円弧、スプライン等を、Ver.13 以前の折線化の精度で折線に変換します。(円弧の折線化も可能です。)

[細かく分解]ラジオボタン

『完成図－編集－折線化』コマンド実行時に、楕円弧、スプライン等を、所定精度(『編集－ポリライン－曲線→ポリライン変換』コマンドの分解レベル 5・最大角度 0.1 度・最大距離 10mm 相当)で折線に変換します。(円弧の折線化も可能です。)

[追加チェックプログラム]グループ

[セカンドチェック]チェックボックス

整合チェック時に追加チェックプログラム(完成平面図品質評価ツール)のセカンドチェックを行うか設定します。

チェックが ON の場合、整合チェック時にセカンドチェックを行います。

チェックが OFF の場合、セカンドチェックを行いません。

※チェック内容は『完成図－ツール－整合チェック』コマンドのヒントをご確認ください。

[サードチェック]チェックボックス

整合チェック時に追加チェックプログラム(完成平面図品質評価ツール)のサードチェックを行うか設定します。

チェックが ON の場合、整合チェック時にサードチェックを行います。

チェックが OFF の場合、サードチェックを行いません。

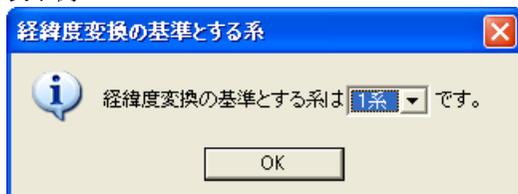
※チェック内容は『完成図－ツール－整合チェック』コマンドのヒントをご確認ください。

[整合チェック時に経緯度変換の基準とする系番号を確認する]チェックボックス

チェックが ON の場合、、『完成図ツール—整合チェック』コマンド実行時に、系番号の確認・変更を行い SXF Ver.3.0, 3.1 で保存を行うことができます。

チェックが OFF の場合、系番号の確認・変更を行うことはできません。

表示例



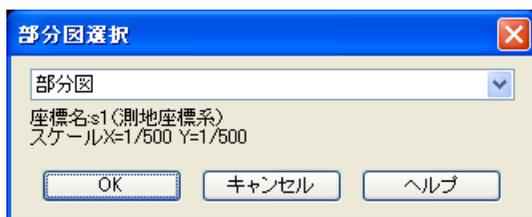
[部分図名を系番号として扱う]チェックボックス

整合チェック時に、緯度経度変換の基準とする系の値を、地物図形が配置されている部分図の名称から取得します。

整合チェック時に、指定された緯度経度変換の基準とする系の値を、地物図形が配置されている部分図の名称として設定します。

地物図形が配置されている部分図が複数ある場合は、部分図選択ダイアログを表示し、緯度経度変換の基準とする系の値を設定する部分図を選択します。

表示例



図面上のすべての地物図形を、緯度経度変換の基準とする系の値を設定した部分図上に配置します。

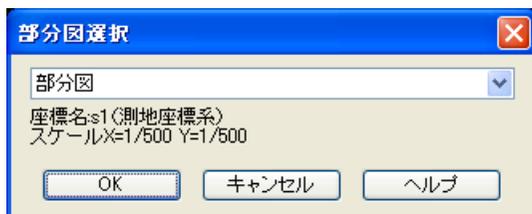
チェックが ON の場合、処理が行われます。

チェックが OFF の場合、処理は行われません。

[整合チェック時に部分図名称を確認する]チェックボックス

整合チェック時に、地物図形が配置されている部分図が複数ある場合は、部分図選択ダイアログを表示し、緯度経度変換の基準とする系の値を設定する部分図を選択します。

表示例



[整合チェック時に路線番号の文字(数値以外)を許可する]チェックボックス

整合チェック時に、測点の路線番号の文字に数値以外の文字が含まれることを許可するか設定します。

チェックが ON の場合、測点の路線番号の文字に数値以外の文字が含まれることを許可します。

チェックが OFF の場合、数値以外の文字を許可しません。

高速道路等の路線番号のように数値以外の文字を使用した路線番号を使用する場合、チェックを ON にして整合チェックを実行してください。

[整合チェック時に図形識別番号の整合を取る]チェックボックス

整合チェック時に、地物図形に図形識別番号を設定します。

チェックが ON の場合、整合処理が行われます。

チェックが OFF の場合、処理は行われません。

なお、整合チェック後の編集内容によっては、図形識別番号にずれが生じる場合がありますので、SXF ファイルに保存する前に整合チェックを行って図面識別番号の整合を取ってください。

[整合チェック時に面データの枠の色の整合を取る]チェックボックス

整合チェック時に、面データの枠の色が基準で規定されている色と同じかどうか照合し、異なる場合は基準で規定された色に設定します。

チェックが ON の場合、整合処理が行われます。

チェックが OFF の場合、処理は行われません。

[図形検索時に図形識別番号の整合を取る]チェックボックス

『完成図ツール—図形検索』コマンド【図形検索:ダイアログ】内の[OK]ボタン選択時に、図形識別番号を設定します。

チェックが ON の場合、整合処理が行われます。

チェックが OFF の場合、処理は行われません。

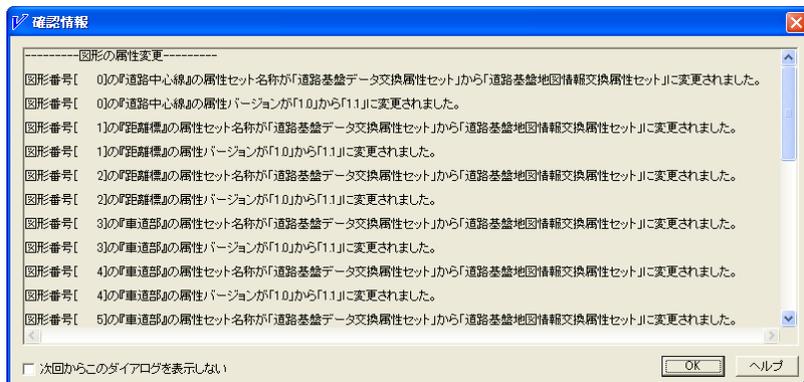
[属性が旧バージョンのデータを読み込んだ場合、データ変換確認のダイアログを表示しない]チェックボックス

属性セットのバージョンが 1.0 のデータを読み込んだ場合、自動的にバージョン 1.1 のデータに変換されます。

チェックが ON の場合、変換する場合の確認ダイアログを非表示にすることができます。

チェックが OFF の場合、確認ダイアログが表示されます。

表示例

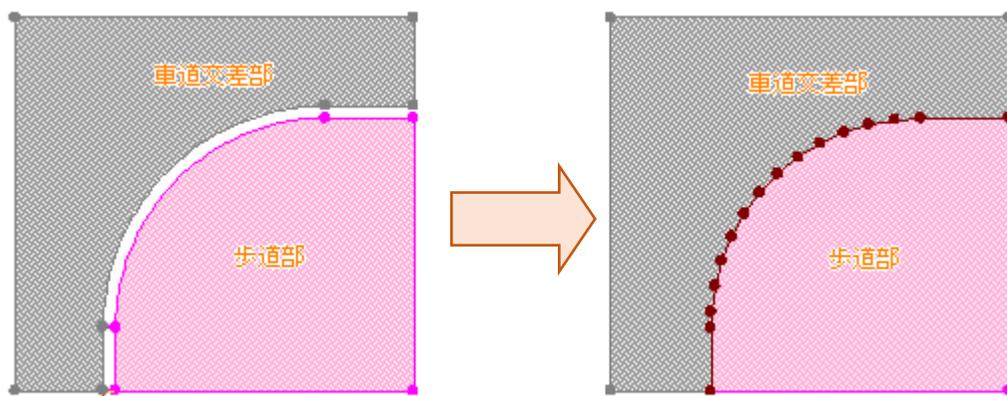


[距離標を緯度経度情報に従って配置する]チェックボックス

距離標の属性入力ダイアログに表示される値の初期値を設定します。

[面領域接合時に面の円弧部分を折線に変換する]チェックボックス

『完成図—ツール—面領域接合』コマンド実行時に面の円弧部分を折線に変換するかを設定します。チェックが ON の場合、接合先の面領域の円弧部分を折線に変換して面領域接合を行います。チェックが OFF の場合、接合先の面領域の円弧部分を折線に変換せずに面領域接合を行います。重なりや離れのエラーが解消できない円弧を含む面領域がある場合にご利用ください。



[設定初期化]ボタン

設定値を初期化します。

[設定読込]ボタン

ファイルの場所(フォルダ)、ファイル名を指定して、設定ファイルを読み込みます。

指定されたファイルが旧バージョン(Ver.11.01 以前)で作成されている場合は、境界線の線幅・ハイライト表示色・図形名称表示色は初期設定値(境界線の線幅=0.30mm・ハイライト表示色=色番号 31・図形名称表示色=色番号 2(黄))が設定されます。

[設定保存]ボタン

ファイルの場所(フォルダ)、ファイル名を指定して、設定ファイルを保存します。

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万が一不明の点や、誤り、お気づきの点がございましたら、弊社またはお買い求めになられた販売店にご連絡下さいますようお願いいたします。
- 本製品および本書を運用した結果につきましては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

『V-FIELD 道路工事完成図版 完成図コマンド コマンドリファレンス』

発行日

2007年 02月 05日	初版
2013年 11月 28日	10版
2014年 10月 20日	11版
2015年 12月 04日	12版
2016年 06月 30日	13版
2017年 08月 21日	14版
2018年 01月 10日	15版
2019年 04月 08日	16版

発行：川田テクノシステム株式会社

<http://www.kts.co.jp>

〒114-0023 東京都北区滝野川6-3-1